

延七月至正月

本
廻状留

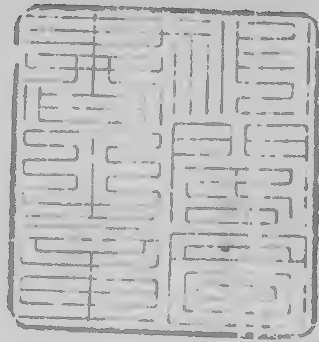
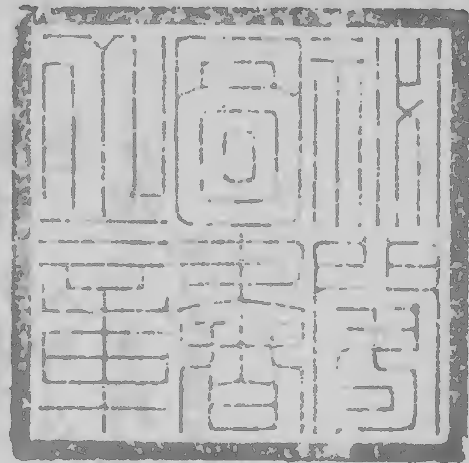
寛政元酉年

内閣文庫	
番號	和 35248
冊數	201 (78)
函號	181 1

共廿四

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

1 : 28



七月高月番

鳥居丹波守
平定親馬守
松平純伊守
三田隆河守
山村信徳守
根尾忠重守
久保田佐重守
曲淵勝次郎
河井正重守

第百

七月朔日

松平徳重監

四世以上例月次之遊西院相所
西院代座外取座亭燈之川大
廊下於西院一岡西院早言以
遊 入西院

一月朔日 西院相所

西院書院

奉勅

石川日向書

大坂御書院

流義 松倉内膳心

兼

增山河内書

地内書院

松平日向書

西院

昨後
昨後
昨後
昨後

西院書院

松平徳重書

兼

以另次是元

即尋之也

松平徳重書院

松平徳重書院

西院書院

大坂御書院

近江石内書

酒井徳重書

友組

友組

西院

長崎守り

松平徳重書

松平徳重書

日蓮寺

松平徳重書

金十段
金十段
金十段
金十段

金十段
金十段

金十段
金十段

光武造紙

光武造紙

光武造紙

光武一月

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

光武

雲屋平

水戸宰相殿

口 戸川出候

ワリ

尾原宰相殿

右向御書一紙云々

一 右為御書水戸殿尾原殿

御書物々々々

向御書書後

御書一紙云々

御書一紙云々

御書一紙云々

御書一紙云々

御書一紙云々

御書一紙云々

一 水戸殿

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

一 水戸殿御書

御書

牧野御書

上使為書

水戸中將殿

御書

水戸中將殿

一 水戸中將殿

一 水戸中將殿

一 水戸中將殿

一 水戸中將殿

日行

松平上尾井

日行

松平澤田志海

日行

松平長島

日行

松平左田信隆

日行

松平左田信隆

七月廿六

右

右

右

右

右

右

正多

一 折本場... 松平左田信隆

二 折本場... 松平左田信隆

三 折本場... 松平左田信隆

四 折本場... 松平左田信隆

五 折本場... 松平左田信隆

六 折本場... 松平左田信隆

七 折本場... 松平左田信隆

八 折本場... 松平左田信隆

九 折本場... 松平左田信隆

十 折本場... 松平左田信隆

十一 折本場... 松平左田信隆

十二 折本場... 松平左田信隆

七月四日

水田左田信隆

松平左田信隆

松平左田信隆

松平左田信隆

皇居書次

伊達直正

伊達直正

大塚元信

右殿中川左衛門尉於幸澤

伊達中川左衛門尉於幸澤

幸澤元信

山崎

右殿直正

合記
時辰二

右

林右衛門 所所方子外山直正為

所用之也山直正乃於山直正

於山直正於山直正乃於山直正

頂戴之也山直正乃於山直正

山崎

右殿直正

森川七郎

名代

伊達直正

右

皇居方子外山直正

伊達直正乃於山直正乃於山直正

伊達直正

上使方子外山直正

雲雀三子

伊達直正

日朝山直正

山

松平伊達直正

山國於山直正

山

松平直正

山山直正

山

松平直正

山山直正

山

松平直正

山山直正

山

松平直正

山山直正

口外

松平勘定

又作

松平勘定

口外中

細川勘定

右内務省ノ書達ニ

一 右内務省ノ書達ニ

一 右内務省ノ書達ニ

一 右内務省ノ書達ニ

一 右内務省ノ書達ニ

一 右内務省ノ書達ニ

此

口外中

松平勘定

松平勘定

大

松平勘定

右内務省ノ書達ニ

口外

松平勘定

松平勘定

口外

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平勘定

松平信房の七代目子孫の事

七月五日

書

戸田宗吉

酒井周備

水野新七郎

呼月式部

村上新三郎

会田道徳

武蔵守

松田赤次郎

菅田勘兵衛

若口内膳

山名三治郎

比留井善兵衛

膳田重隆

膳田重隆

松平信房

山平泉房

松平信房

伊藤清元

伊藤清元

松平信房

山平泉房

河津清房

河津清房

海軍抄本

石向

河津清房

河津清房

右甲府新書

列名此は信房の孫

上使信房

松平信房

雪屋三子

川林信房

川

酒井雅之

名代

酒井七郎

口金橋長三

菅井藤助

右馬頭 菅井藤助

一 右馬頭 菅井藤助 御用 御用

一 右馬頭 菅井藤助 御用 御用

一 右馬頭 菅井藤助 御用 御用

一 明六 七夕 山伏候上り 御用

一 日人 御用 御用 御用

一 日人 御用 御用 御用

一 刻 御用 御用 御用

一 右 御用 御用 御用

一 外 御用 御用 御用

一 御用 御用 御用

山

一 小 御用 御用 御用

一 一 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

御書

七月六日

水野左衛門

今日七夕 山伏候上り 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

一 明日 御用 御用 御用

一 湯 御用 御用 御用

上即七夕之禮如例年首危好
お陰や

一 紀伊松本水戸殿宛の使に在り候
旅の御留に間丹後守に在り候

一 松平川左衛門殿宛の御返書に
席下日人にて候

右の外 殿中御返書に在り候

此

一 松平左衛門殿宛の御返書に在り候

一 伊豆守に在り候

一 丹波守に在り候

事書

七月九日

物書

今朝上書

海防殿宛 御返書

所及代松平向書にて候

所及之同

西投書

以持書

至之原

秋半迄

大之原

書

御返書

松平御書

系

兼原御書

同 揚書

志平殿 右御書に在り候

一 通海防殿に在り候

一 相違揚書に在り候

一 右之御書に在り候

一 左之御書に在り候

御書

御書

三島加子記

博内加子記

山本加子記

尾友加子記

浦井加子記

白濱加子記

三光加子記

那加加子記

十加子記

竹内加子記

佐加加子記

海加加子記

水加加子記

松加加子記

伊加加子記

日加加子記

加子

中加加子記

心加子

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

加子

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

加子

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

山本加子記

南朝之校書院

左之好字之書

右之好字之書

那獨之門

跡目

山田

山田

田代十右衛門

名代

松平

之親

今川

之下

名代

月夜

呼月式

幕府

天守

名代

主事

之親

今川

之下

名代

今川

之親

幕府

表卷

右之月人之信

海軍

和服

福向

日科

右之月人之信

お尋ね申上候様事申列座
向人云々作用
右ノ外 殿申替候事
右京及物申替候事
物申相
勤申上

此

後書

屋代赤馬

吉高秋後府内より月身申上候事
中甲府より申上候事
右京及物申替候事
物申相
勤申上
一 御座申上候事
一 御座申上候事
一 御座申上候事
一 御座申上候事
一 御座申上候事

七月九日

書

松平定信

中尾孫兵衛

竹屋甚三郎

右様老妻新色申上候事
御免候事
申上候事
申上候事
申上候事

御座申上候事

御座申上候事

表上候事

大澤文太

各代

山口右兵衛

申上候事

申上候事

申上候事

申上候事

申上候事

右云 仰答... 侍座... 等...

此等

此等

為并因... 少...

小...

少...

有...

大...

列...

此...

古...

此...

山...

一 明... 此...

當書

七月十日

校...

種... 此... 乃...

此...

時服三克

布施... 小... 廣... 廣... 大...

右... 一 林... 右...

御月見之云 仰身之云是又云
江内

山崎
松平重直傳書

細後三平
右於松之川間向人、古源等云
少後相物原其

松三平
時辰三

宗坊市原
吉川圖書
卷

吉川義人

松三平
并辰三

吉川義人

右朝鮮信使奉使時、古源等云
依江中、青新、此身、之、古源
日、席、向、人、之、作、後、相、物、原
其
右、之、云、
松平重直傳書

松平重直傳書
之、云、物、遠

所、云、之、云、
之、云、之、云、
之、云、之、云、

之、云、

- 一 伊豆之云、并、其、之、云、向、信、渡、平
- 一 川、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、
- 一 并、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、
- 一 即、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、
- 一 紀、列、之、云、之、云、
- 一 信、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、
- 一 且、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、
- 一 九、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、
- 一 八、之、云、之、云、之、云、之、云、之、云、

同日
松平重直傳書
吉川圖書

御儀降於七月中迄云々

殿中整頓之儀
於中事書之如所書云々
水左之及之如所書云々
之如所書云々

一 還所之申道第之於也
所自見也

一 今之也物之候以時云々
丹陽之及之申道第之於也
之代合之申道第之於也
之代合之申道第之於也

還所之候物之申道第之於也

七月三日 松平右衛門

今朝増上寺

所靈亦
所為代物申道第之於也

松平右衛門

松平右衛門

右近之也物之申道第之於也
之間申道第之於也
之申道第之於也

金也

米田右衛門

金也

後之申道第之於也

右
松平右衛門
為所用之申道第之於也

年功を賜はれ申すに
願兼一 指存紀事(近) 此
等一 殿中 御成之儀
備若及不為(近)書々々御
P. 11 12

一 九月廿三日 申すに
事書

七月十三日

志願書
西丸山書院書

内及主事
深谷陽河書院

右 申すに 申すに 申すに
御成之儀 申すに 申すに
御成之儀 申すに 申すに

之方 申すに 申すに

長年
為代

右 就病 凡 申すに 申すに
申すに 申すに 申すに
申すに 申すに 申すに

時頃二

中村 謹言

右 大 京 龜 市 郎 支 配 不 為 代
檢 見 之 事 申すに 申すに
申すに 申すに 申すに
申すに 申すに 申すに

合 計 収

中井 謹言

右 中 井 謹言 又 申すに 申すに

山卷者書凡

明後十日
即傳是二人明十四日
即傳是二人明十四日
即傳是二人明十四日

當書

七月十四日

戸田米吉

今有傳云山想

即靈庵

即靈庵
即靈庵
即靈庵

即靈庵

還即

即靈庵
還即
還即

即靈庵

即靈庵

還即
還即
還即

還即
還即
還即

還即
還即
還即

還即
還即
還即

還即
還即
還即

還即
還即
還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

還即

一 是地方... 東京... 明... 皇... 書...

七月十五日

松平右衛門

月... 屋... 使...

一 右... 河...

時...

上使...

日...

博...

右為金料...

一 右... 凌... 一...

一 物... 城...

一 例... 白...

右... 大... 皇... 相...

此...

一 例... 九...

七月十六日 当番 水野与波子

二九四号船

止左津人

系

中村之丞

右物痛丸種之遊没

即免之方旅中幸初在船敷西

者中列座舟中幸初在船敷西

多加修程

吉々外 船中幸初在船敷西

望

上号

一 加波江舟中幸初在船敷西

一 右向辰舟中幸初在船敷西

物之湯一紙目録海舟中幸初在船敷西

以丹阿原舟中幸初在船敷西

一日地舟中幸初在船敷西

舟中幸初在船敷西

一 舟中幸初在船敷西

当番

七月十七日 松平右京地

今朝紅葉山

即宮

即若代松平和泉守幸初在船敷西

一 辰日先舟中幸初在船敷西

以宮指院幸初在船敷西

舟中幸初在船敷西

即代友

角倉亦一

系

信家左近

津本新若

合二女

右吉中車一由平方之出册信
身為由信之入りしりしり
吉中車之出册信身之入りしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

吉中車

口

吉中車

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

吉中車

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

吉中車

七月十八日 吉中車

吉中車

吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

吉中車

吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

吉中車

右吉中車一由平方之出册信
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり
身之入りしりしりしりしり

吉中車

七月十九日 吉中車

吉中車

吉中車

書入漢多し又之爲再意
此一書出有之信り
亦未走しひそ拾て三歳
との
即執之て之を以て其
之を以て其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は

右の如く是を以て二十年
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は

右の如く是を以て二十年
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は

書

七月廿二日

收

丹波守及少輔由言抄中
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は

書

一九中
別

其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は
其心は其心は其心は

於言在方、有之、妻、古、未、不
所、免、又、も、年、之、を、以、て、承、承、而
並、け、も、格、に、隠、妻、女、ハ、世、に、
若、置、け、る、交、和、近、来、撰、み、お、
所、に、妻、女、許、す、者、若、置、山、後
お、少、い、右、舟、お、つ、つ、村、方
風、流、も、い、ま、農、も、た、急、り、い、る
近、い、と、妻、偶、に、い、ひ、難、敷、く、者
も、お、来、給、け、一、旦、お、真、ま、の、も
之、入、り、候、い、る、自、今、隠、妻、
一、切、若、置、け、る、交、ひ、の、隠、妻、
け、り、お、願、ひ、り、其、不、波、入、り、
治、候、と、い、ふ、交、ひ、は、金、の、
修、身、の、竹、子、の、料、を、と、祈、り、
お、交、和、候、ハ、以、て、山、後、に、
此、ご、う、儀、候、者、お、交、ひ、の、
此、ご、う、儀、候、者、お、交、ひ、の、
け、上、若、置、け、る、者、お、交、ひ、の、

東、京、捕、り、し、り、の、
高、貴、許、り、候、
と、い、ふ、
右、
七、月、
七、日、

七月廿三日
七、月、廿、三、日
七、日

右、為、何、由、後、候、也
水、野、出、羽、子
左、山、後、山、書、
お、交、ひ、の、

此、り

一 九事皆道丹後官物因其在所

当番

七月廿四日

戸田米女正

今期上野

孝恭度様

即靈系

所若代 幸山 大猪 丸 善治

即庄之月

大田書次

米倉長吉

水野河内善治

由書院番

徳元寺番

之乃山酒言次

暗金控番

其目長三席次

右 於

即 於

山代友

時辰三花

聖村控番

圖定徳助

右 役所 以下 由 於 於

御 届 之 乃 丹 後 寺 及 寺 後 役 所

以 知 願 載 之 久 保 田 依 師 正

也 之 也

願 申 替 候 之 儀 也

以 上

止 云

一 井 伊 三 切 白 俣 子 俣 氏 之 也

論 之 也

一 寺 中 以 之 丹 後 寺 及 俣 氏 之 也

当番

七月廿五日

水野善治

即 子 三 代 俣 子 善 治 船 後 云 云 也

日光新宮

吉市入寺西得度相麻山寺
給院之屋今一お燈火之同
外也

昆布三糸
号年二糸
即持二糸

日見山つ流

吉就日引以吉源院之屋今
於日席日人今也

山傳書

松平九門

為行

金指書

右就痛乳新之屋也

即也之屋於也半引也福也

名中列屋同人丁也

高九位也

山中書後之也

也

匠三

一 日見方也一書身書身源引之也

一 井伊之助由体快也

一 飯之也

一 右東之也此也

一 此也

書

七月廿一日

牧書後書

林書後

建於也

今相給別屋行

列也

元方山

暗金控書

吉源中引後有

也

侍也

全三夜
野成三
羽成

鳥
忠信
信
内及之席

一 地何處物以有後之務上使各務夫
廊下丹海有也

一 石河島吉席之信八島在打松
如美吉島之島島中列在頂載
一 善吉島成侍理

一 内及之席由外物由是中動身
流那列在丹海有也
頂載之由剛置也石連之也

電印書次
野成三
野成三

野成三
野成三

右河 信守之方物同席列在
日蒸同く中席之善吉島成

侍理

一 秘中書由山田肥列之也
野成三之也

右河 信守之方物同席列在
日蒸同く中席之善吉島成

信守

一 了口信守之内信守 野成三之也
野成三之也

野成三
野成三
野成三

七月九日

野成三

野成三
野成三
野成三

松平之屬氏
各代

松平之屬氏

- 一 後藤氏を頼りて朝一のり松平信子
早知二以信子とて一と捨つる松平
目録に依りて人のいふ所を以て
一 水戸の御用を以て使ひて松平の御用
増し給へば一松平の御用は水戸の
人より別後より松平の御用は
一 地方より一書付書付書付書付書付
内
- 一 四重の丹波の松平の御用は

列伝書上

松平御中より各属の御用は

此
松平御用は

六月廿日

以役御中より松平御用は

松平御用は
向ふも松平御用は
遺後又一死去あり一松平御用は
同日役は川内松平御用は
松平御用は右松平御用は
松平御用は右松平御用は
松平御用は右松平御用は
松平御用は右松平御用は

右松平御用は
七月

松平御用は

七月廿九日

松平御用は

日見奉り

松平御用は

右明の御用は
列伝の松平御用は

一 噴朝、御年、之、遊、北、野、之、西、終、
有、之、由、和、泉、子、之、中、の、人、之、
場、之、別、派、形、系、の、中、等、之、形、也、
し、ゆ、也、

右、之、中、 扇、中、盤、後、の、形、也、
因、防、の、中、書、之、和、泉、時、終、内、各、
念、雖、同、形、由、於、派、江、各、中、
後、之、形、也、
所、来、之、形、書、校、合、物、各、各、形、
之、形、也、
形、中、の、中、也、

世、也、
一 佐、橋、長、之、言、而、其、言、院、論、也、
し、ゆ、也、
一 西、中、之、後、形、也、
場、中、の、山、上、之、形、也、
し、ゆ、也、

一 九、半、時、之、形、也、
形、中、の、中、也、

八月西用書

松平和泉守
井伊三右衛門
物部備前守
小三守
初廣河守
久世丹後守
曲淵
物部
首尾

西用書
とて

八月朔日

書

西尾藤次

即白手院大層間
出即八朝之西尾例年之西
首尾好相原
入即之西尾書院
西尾以縁紙

奈良

銀

一 後述川三三殿以西尾附書
西尾候之儀
西尾
西尾
西尾

一 西尾殿水戸殿物部西尾

〇

一 松浦院列位之書字之進也
一 九月廿五日所寄之書字之進也
右紙卷上

四卷有書
寺社奉行

六月付

未九十八日親筆有之
以上各件物使在
八月廿二日

八月二日

書

八月二日

牧野信吉

長治

右紙之邊所記之書字之進也
右紙中列位之書字之進也
即正書中列位之書字之進也

松浦院

親任

三卷
信光

右紙之邊所記之書字之進也
右紙中列位之書字之進也
即正書中列位之書字之進也

松浦院

全二卷

栗津八郎

名代

松浦院

右紙之邊所記之書字之進也
右紙中列位之書字之進也
即正書中列位之書字之進也
右紙之邊所記之書字之進也
右紙中列位之書字之進也
即正書中列位之書字之進也

松浦院

〇

正三

- 一 田村右衛門左衛門の孫一田村俊物を藏
- 一 伊予守の孫一伊予守馬代治子之孫
- 一 伊予守の孫一伊予守一城目治子
- 一 伊予守の孫一伊予守治子
- 一 井上内膳の孫一松平治子仁市同
- 一 河内花伝の孫一河内治子
- 一 中一河内治子の孫一河内治子
- 一 永井龍興の孫一永井治子
- 一 河内治子の孫一河内治子
- 一 地方一書守治子
- 一 伊予守の孫一伊予守治子
- 一 河内治子の孫一河内治子
- 一 河内治子の孫一河内治子

当番

八月四日

戸田宗忠

菊間

跡目

山藤守治

河内守治子

松平内膳

松平治子

皇子

山三郎治子

久之保治子

治子

柳次治子

大治治子

山守治子

松平治子

河内守治子

山守治子

河内守治子

花岡安房の子孫

古川信之の子孫

松井初太郎

物田安房の子孫

左中子孫

新井直吉

石橋地蔵の子孫

左中子孫

長谷川金房

右代

三井清房

中多能清子孫

米倉忠之の子孫

高橋一子孫

森川信市

花房同清子孫

左中子孫

名田牧三郎

安房安房の子孫

新井信之の子孫

松平金房

右代

物田金房

常山松平子孫

右中子孫

長谷川金房

山崎

新井中子孫

加藤清房

南野之松子孫

左中子孫

名田金房

右代

西川清房

長谷川

西倫子孫

永見伊藤子孫

小森西庵
東園正徳

三伯子

林長元

志代

松井世康

西野正徳

治西子

市村宗助

西角正徳

五子

栗橋宗市

名氏

世及子

吉江 作舟 宗正 宗中 列 宗隆

宗隆 宗隆 宗隆 宗隆 宗隆

宗隆 宗隆

宗隆

道元院 宗隆

五子 宗隆

妻 宗隆

中村 宗隆

宗隆

宗隆 宗隆

羽田 宗隆

右 宗隆 宗隆 宗隆

宗隆 宗隆 宗隆 宗隆

宗隆 宗隆 宗隆 宗隆

宗隆

宗隆 宗隆

宗隆

宗隆 宗隆 宗隆 宗隆

宗隆

八月廿日

西尾 宗隆

巡見呼

出仕組

酒坊番持手組

花房仙草席

半虎番

赤川忠吉組

山崎平次

吉松野府竹之間由為中列座

和玉

菊之間

藤居嘉智

弁合

永井伊勢

左代

花房左京

三子勘次

日左門

日

岡田忠房

左代

山中平吉

三子

岡家直

日

山崎之孫

左代

三子勘次

三子勘次

岡家直

日

小出誠邦

左代

本及左衛門

三子勘次

岡家直

日

17
 左阿古古子之記
 酒井九十九
 宗
 17
 日蓮公傳
 17
 南無三尊之記
 抄多宗女
 宗
 後聖中八
 17
 小善信組
 佳火持師
 17
 同伊儀
 宗
 17
 同伊儀
 宗
 17
 中山公事
 宗
 17
 座喜宗女
 宗

信原三子
 17
 宗
 17
 同和宗
 宗
 17
 同和宗
 宗
 17
 同和宗
 宗
 17
 同和宗
 宗
 17
 同和宗
 宗
 17
 同和宗
 宗

卷子
造り又巻

17

菊田西条子記

三枝白織

巻

松林公記

三の巻

同 友記

17

口入記

三枝信吉席

巻

修家巻

三の巻

口傳巻

17

酒井貞清巻

何東源巻

巻

栗山伝巻

巻子

日蓮三席

17

何月或子記

何老の巻

巻

玉也子巻

舞巻子

日守市

17

若河安子記

玉也子巻

巻

日守市

菅子

同為子席

同

尾田安房守之宛

五原浩吉

在代

押田信左

菅子

日乙若

同

酒井國清守之宛

三原為中

菅子

日平由

同

三木藤房守之宛

喜友吉若

在代

菅子

伴岳若

同

日乙若

酒井國清守之宛

為十郎若

在代

菅子

菅子

日平由

同

金田正信守之宛

中根喜若

在代

平岡又若

菅子

同喜若席

同

南島之夜之記

大澤又七郎

長代

桂村幸三

字子無几

日改之助

17

石河嘉兵衛之記

石河四三郎

長代

五里中兵衛

字子無几

長子

日改之助

流更之信尚

17

若田西原之記

石川若吉郎

長代

石井之助

年表の子

日 兼吉

17

松平徳馬之記

書多十郎

長代

信田之助

字子無几

日 幸三

17

米澤屋之記

萩末深治郎

長代

小林幸八

字子無几

日 頼馬

17

河野朝宗子之記

大石為久

為代

大沢金原

宮子為久

同 兼茂

為代

淺木善亮

甲府勘吉

水戸守備子之記

吉田清左

為代

正長為久

馬場連祖

同 梅吉

為代

松平為久

小宮清祖

松平為久

井戸八郎八

為代

小宮南英

牟婁子

同 新之丞

17

羽田善吉子之記

羽田持直

為代

小島善藏

宮子為久

同 三郎

為代

岡部勘助

18

坪内式部子之記

友所為房

和泉守子清之善子善成信智

源 濁之川

隠居家智

子之祖

富田吉平

子代

酒井三次

幸若子

同 若一助

小善彦

松平仙馬

北条市十郎

子代

浅井右兵衛

守子祖

同 北七郎

日人祖

子代

大場金三郎

守子祖

同 友一助

日人祖

市原重三郎

子代

三山十左衛門

守子祖

同 重一助

易金醫師

若菜長次

子代

成田敏男

守子祖

同 三乙

右 佐守一右衛門中列燈

戸塚八郎

三代

丹羽宗長

孝子

同 年 七 郎

種 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

宗 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

三 代

佐 藤 宗 彦

門 下 宗 彦

宗 彦 氏

日 蓮 宗

如 文 時
種 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏
三 代 宗 彦 氏

種 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

宗 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

永 井 利 節

三 代

永 井 宗 彦

表 口 宗 彦 氏 御 孫

宗 彦 氏

同 利 十 郎

種 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

右 日 蓮 宗 御 孫 宗 彦 氏

宗 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

高 書 氏 御 孫 宗 彦 氏

種 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏

宗 彦

戸 塚 宗 彦

種 彦 氏 御 孫

宗 彦 氏 御 孫

宗 彦 氏 御 孫

宗 彦 氏 御 孫

宗 彦 氏

日 蓮 宗

如 文 時
種 彦 氏 御 孫 宗 彦 氏
三 代 宗 彦 氏

此等造酒の法は古くも置酒
色米并穀拂座より天明六年
年以來減石桐解世席の初
ころより古米(白米)を造る
ころより一方一造酒の法は古
米年以來も福(徳)方(方)に
けり法至屆半お給ひ上り
右三分一(一)之原(一)造る米
多と見難(一)ハ元原(一)も不
當時造る(一)ハ三分一(一)も様
お坊(一)ハ上(一)之法(一)至一院(一)乃
文(一)之動(一)ハ方(一)より(一)年(一)に
る(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)ハ(一)法(一)去(一)年(一)
年(一)に(一)造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
造(一)る(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)

造る酒米と多し此ハ六米
在(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
依(一)る(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
梅(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
了(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
一 諸国酒の自株より五分七
五(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
一流株(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
竹(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
酒(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
事(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
流(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
多(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
後(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
一 此(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
分(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
以(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)
相(一)の(一)法(一)の(一)法(一)は(一)法(一)に(一)造(一)る(一)法(一)

一九〇九年三月三日 和泉寺 松平池田書

八月九日

松平池田書

平朝上中

即靈弁

即名代島右丹所書之書
即中一書代所書

此書

一九〇九年三月三日 和泉寺 松平池田書

為書

八月九日

松平池田書

井伊掃部頭

松平池田書

松平池田書

日見寺

井上寺

松平池田書

松平池田書

此書

一九〇九年三月三日 和泉寺 松平池田書

松平池田書

松平池田書

松平池田書

明口

松平池田書

一 九月十日 伊勢正正書
一 九月十日 伊勢正正書

書

八月十日

板倉因房

伊勢正正書

伊勢正正書

大友或嘉滿

全十枚
野後三
羽

八月十日

伊勢正正書

伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

書

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

書

八月十日

板倉因房

伊勢正正書

大友或嘉滿

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

一 九月十日 伊勢正正書

一 善通寺の住持
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列

一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列

一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列

越後國
 長恩寺

右諸堂修葺爲助力勅化
 由光寺社奉以連下
 勅化伏持系末本年
 子年と三ヶ年
 九月晦日
 寺社所在所の修葺の爲
 住持の及由海内中三
 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列
 一 住持の及由海内中三 松尾頼列

八月廿二日
 今期場上寺
 善通寺
 住持 松尾頼列

卯盡前
所為代松平伊豆守書
書外 屬中替候之形

書

一 秘中書控忘申之由也
一 海軍之備之由也
一 源列之由也
一 八時末和氣之由也

書

八月十五日 戸田來志
今日 殿中替候之形

書

一 和氣信厚之由也
一 指所之由也
一 馬代諸子之由也

家書の由也

一 日池方之由也
一 秘中書之由也

脚之由也

一 九時代迄之由也

書

八月十四日 水野書
明日十五日
所為代松平伊豆守書
書外 屬中替候之形
一 秘中書控忘申之由也
一 海軍之備之由也
一 源列之由也
一 八時末和氣之由也

書

一九〇〇年... 和泉...

即書

八月十五日

水...

四品以上例...

下品...

入即...

一月...

即白...

幸...

半...

酒...

左...

右...

予...

山...

左...

之世...

山...

其...

保...

酒...

弟...

内...

妹...

治...

名...

一...

伴...

之...

名...

之...

信...

山...

山...

一書一覽

再勝子

素上

日見寺

井戸

徳政

徳政

徳政

巡見

徳政

徳政

徳政

小濱

三列

信玄

満戸精

巡見

徳政

徳政

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

徳政

一 徳政殿

一 徳政殿

一 徳政殿

徳政

徳政

徳政

徳政

八月十五日

由津より

酒井様

右様申す通り

列候事

是等事

六月廿日

八月廿日

由津より

酒井様

之代

一柳様

之代

之代

之代

一 石川様より之代申す通り酒井様

戸田様より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

一 酒井様より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

一 水戸様より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

由津より之代申す通り

一 日蓮方より之代申す通り

由津より之代申す通り

一 井伊様より之代申す通り

由津より之代申す通り

一 戸田様より之代申す通り

八月十六日

戸田様

由津

小笠原

金田(氏)子

井戸富

若田(氏)子

松井(氏)子

藤田(氏)子

永井(氏)子

松平(氏)子

若川(氏)子

若尾(氏)子

竹田(氏)子

右馬守虎善為書肥後守

物之入人

於第(氏)子

初(氏)子

若尾(氏)子

金田(氏)子

若田(氏)子

右(氏)子

同(氏)子

新(氏)子

右(氏)子

吉(氏)子

用(氏)子

若(氏)子

若

若

若

石神(氏)子

若

若

若

若

若

若

一 池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日

一 嘉永元年八月廿一日
嘉永元年八月廿一日
嘉永元年八月廿一日
嘉永元年八月廿一日
嘉永元年八月廿一日

書

八月十七日

松平定重

今松平定重
所寄
所寄
所寄
所寄

即日

書

松平定重

今福松平

日地
嘉永元年八月廿一日

右

所寄
所寄
所寄
所寄

一 池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日

書

一 池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日
池田福也一撰 嘉永元年八月廿一日

八月十八日

書

松平定重

吉於

所若子進

尾屋殿

所對親以恭於行

文下

所對親相傳為乳

所書院為

所月

所至

所智

在

合馬代

在

尾屋殿

所智

在

所智

在

所智

在

門三

在

大書格

在

所智

在

所智

所智

所智

在

市岡

所智

所智

在

永井左門

所智

所智

在

小濱長

所智

所智

馬田

門

日

日

少時之緒

日

日

仙石在也

日

日

逸見延布

卯方東
卯子之友

日

信長之身
在

卯

日

地回路

日

日

物望皆花

日

日

淺田孫十郎

日

日

河内之學子
在

日

日

蓮花院
在

小倉宗家

高橋宗子

口

松平三十郎

後書

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

口

山内与右衛門 在

以

階层的席

11

以

排方前元
海軍部矯正所
上野聖持書庫

17

以

野原部
空軍部

17

以

刑部省
法務部
花房部

入部
山吹了乃

17

同日

17

同日

一尾法殿就

即為孫

蓮克隱孫心
所使
為由礼之序使

一尾辰辰

一尾辰辰

一尾辰辰

以

書

一 七月廿九日 内 痛元 一 七月廿九日 内 痛元

列代書上

山崎守書

六月廿九日

六月廿九日

八月十九日

西澤守書

山崎守

山崎守書

小金沢守

陽本守

山崎守

右 陽本守書

一 陽本守書 一 陽本守書

中 陽本守書 中 陽本守書

日 陽本守書 日 陽本守書

一 陽本守書 一 陽本守書

村 陽本守書 村 陽本守書

日 陽本守書 日 陽本守書

月 陽本守書 月 陽本守書

一 陽本守書 一 陽本守書

九 陽本守書 九 陽本守書

列代書上

松平 陽本守書

山崎守書

寺社守書

六月廿九日

年始八朔 外 陽本守書

節 陽本守書 節 陽本守書

始 陽本守書 始 陽本守書

之外 陽本守書

三月 陽本守書

右 陽本守書

存以...
存...
二月

苗書

八月廿日

水書

今朝上...

心觀... 即靈...

所若代... 中...

苗書

使書

原代...

右明... 物... 即...
編... 中... 列... 在... 至... 和... 及...

苗書

原代...

苗書

苗書

初月三日...

右... 修... 中... 列... 在... 向... 人... 之... 信... 及...
曲... 剛... 畢... 事... 之... 連... 之... 也...

布施...

名代

中...

右... 祀... 不... 堪... 所... 皆... 增... 此... 也...
以... 及... 神... 三... 百... 儀... 之... 行... 於... 日... 席...
傳... 聲... 日... 人... 之... 也...

苗書

使書

苗書

原代...

右支配事務之拾目分
修身以持守方叔人持持守方
勿懈懈之方和和守及之守
久守回守守守守守守守
守守守守守守守守守守

九月廿一日
九月廿一日
九月廿一日

八月廿一日
九月廿一日

苗苗

戸田栄志

増山河内与妹

名代

佐友三郎

小笠原徳
以助助助助助

増山共三郎

小笠原徳
与介

小笠原徳

伊奈中兵衛

大目付

山田徳彦

新三郎

若谷友三郎

以是子

水建正吉

小笠原徳
坪内式部

二子通三郎

以是子

海井建正

御者孫内人

御者孫内人

西史

内池

藤重之

山内

中平

山内

石内

再家

山内

本内

山内

山内

神保

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

吉野

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

山内

名代
申事在示
市橋新島

白山三郎中

右左近衛尉延旅母方江川北
氏子也明相意所成勢也
修平方於日布以人

名代
柳宗宗女

名代
金橋在門

名代
金橋在門

名代
金橋在門

右武部左傳妹左傳妻方江川北
氏子也明相意所成勢也
修平方於日布以人

丹波守及方江川

名代
三澤清次

名代
三澤清次

名代
三澤清次

右土佐大守方江川
氏子也明相意所成勢也
修平方於日布以人

名代
三澤清次

名代
三澤清次

名代
三澤清次

右左近衛尉延旅母方江川北
氏子也明相意所成勢也
修平方於日布以人

名代
三澤清次

名代
三澤清次

尾形半蔵

松平定信

三浦

松平定信

右に於ては、先づ方角を定めて、
門外に立寄るべき事、相成り候
候に、通す

修平、方角に日影を以て、
候に、

子性恒雷以

松平定信

小善治

明子

松平定信

右に於ては、先づ方角を定めて、
門外に立寄るべき事、相成り候
候に、通す

修平、方角に日影を以て、
候に、

了後由

三浦

松平定信

三浦

松平定信

右に於ては、先づ方角を定めて、
門外に立寄るべき事、相成り候
候に、通す

修平、方角に日影を以て、
候に、

了後由

了後由

了後由

三浦

松平定信

三浦

松平清隆
此在三月

其同長也

右十三年... 此在三月... 其同長也... 松平清隆... 此在三月... 其同長也... 松平清隆... 此在三月... 其同長也...

子書

八月廿二日

古井之...

松平清隆
井伊掃部

右為... 松平清隆... 井伊掃部... 古井之...

古井之...

古井之...

古井之...

右明日... 古井之... 古井之... 古井之...

古井之...

古井之...

右於... 古井之... 古井之... 古井之...

古井之...

古井之...

古井之...

右於... 古井之... 古井之... 古井之...

中

一 九月廿三日和泉寺給返書

事書

八月廿三日

物書

半書

右為向所傳書

檢於月日... 中...

西州

國書

松平三郎

中...

...

...

右...

...

...

上使...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 酒井...

...

...

...

...

一 日...

...

一 ...

当番

八月廿四日

水野重信

今朝上野

若原茂徳

伊豆前

伊豆代母及針馬古事

新番

水野重信

田中伊織

新井小吉

吉本又常

佐重之丞

権守右衛門

加茂右衛門

相原三平

橋本三郎

伊丹源三郎

津屋金助

中津十兵衛

志

藤原八郎

丸尾忠常

井上多門

大井左衛門

建礼左京

外

右管動之儀

即座一候之事

此旨以於又之由以程至之由

於中一候之事

此旨為候之事

此旨為候之事

此旨

一 此旨以於又之由以程至之由

当番

八月廿五日

戸田重忠

支那勘定

田舎

程生手在り

並に山屋のり

若し作事一々旅端端のり
山屋

右へ下 為申 登坂より
湯治及物と書置きの物と書置
り

山

一 森無十席 山屋のり 馬代 山屋
登りしり 山屋のり 馬代 山屋
三及 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり

一 山月二のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり

八月廿六日

山屋

山屋

山屋

山屋 山屋

右へ下 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり

山屋

山屋

右へ下 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり
山屋のり 山屋のり 山屋のり 山屋のり

右外 乃中 勢候 之 形
右京 之 屯 寄 書 一 紙 日 光 新 意 宛
山 本 上 之 中 右 殿 旨 物 勤 吹
之 通 也 之 今 之 由 書 相 和 申 下
也

上書

兼信

兼信

兼信

兼信

右京 之 屯 寄 書 一 紙

一 伊 美 之 友 之 痛 氣 身 之 之 也

一 城 之 一 以 見 也 示 之 之 之 物 也 慶

一 九 十 八 年 也

一 九 十 八 年 也 之 物 也 之 物 也 之 物 也

兼信

二月廿七日

兼信

京都所奉

兼信

右京 之 屯 寄 書 一 紙

一 中 列 在 之 物 也

兼信

兼信

兼信

兼信

右京 之 屯 寄 書 一 紙

一 中 列 在 之 物 也

一 中 列 在 之 物 也

兼信

兼信

兼信

右京 之 屯 寄 書 一 紙

一 中 列 在 之 物 也

兼信

兼信

上書

一 松平藩の...
 二 種一...
 三 物...
 四 日...
 五 伊...
 六 陽...
 七 九...

第書

八月廿八日

一 月...
 二 水...
 三 於...
 四 若...
 五 在...

第書

一 酒...
 二 一...
 三 物...
 四 尾...
 五 一...
 六 日...
 七 八...

第書

八月廿九日

松平藩

河内守

大坂在香油

大坂在香油

本多肥後

堀田豊前

友組

後有吉書中帳

四書及書紙

友堂肥後

口組

花村三郎

同文新書

五活

池田後

中帳

松葉附

押馬氏

全書三本

全六枚

張十枚

全三本

全五枚

中納言

大坂在香店

直組大口

同世孔芸

入所之節

中書院

後有吉書中帳

小書院

同世孔芸

目元新文上

中書院

坊

一尾後宰相故也

上使中

中使... 中使... 中使...

尾長教

上使... 中使... 尾長教...

一 改府... 中使...

中使...

一 改府... 中使...

列在...

有...

一 有回...

夜...

日...

右...

一 明...

右...

...

右...

...

右...

...

九月...

...

一 有...

...

...

...

...

九月...

...

...

...

一 松...

...

...

...

一 明日主陽... 以後... 頃... 頃... 頃...

一 水... 頃... 頃... 頃... 頃...

九月二日

水野... 頃...

今... 頃... 頃... 頃...

有... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

戸... 頃...

代

富... 頃...

福... 頃...

代

小... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

中... 頃...

本... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

中... 頃... 頃... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

一 以... 頃... 頃... 頃...

中... 頃... 頃... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

右... 頃... 頃... 頃...

一 同... 頃... 頃... 頃...

八月廿八日 柳中野傳之承り上

進

八月廿九日

一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築

南書

九月二日

板倉肥前守

日光寺門前

右道、新築、山、田、田
城、新、所、在、之、間
市、野、新、築

市、野、新、築

御、寄、物、代
御、後、手、指
御、三、言、大

日光 新天
日光 寺門前

右、新、築、之、所、向
市、野、新、築、之、所

夜、間、之、事

御、三、言、大
御、一、言、大

日光 新天
日光 寺門前

御、三、言、大
御、一、言、大

日光 寺門前

市、野、新、築
市、野、新、築

右、新、築、之、所、向
市、野、新、築、之、所

九月二日

進

市、野、新、築

日光 寺門前

一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築
一 日光寺門前新築

四月

夏泥新三席

此回前後

西九月

右京市在馬

此回前後

四月

池田雅次郎

右京市在馬

右京

市前寺

同

海月

後番

後三席

松平隆清

齊

松平隆清

松平隆清

自身

吊川小島

作月

長三席

酒田

各代

右京市在馬

右京市在馬

松平隆清

松平隆清

松田

齊

松平隆清

松平隆清

松平隆清

松平隆清

松平隆清

松平隆清

池田源之助

大原通之助

白雲寺住持

豊東乃介

名代

榎村平兵衛

松平徳治

多文書子

神戶近衛

松平徳治

多文書子

伴 喜之助

名代

仁本伊蔵

在 御月之旨 御中列在御後

御月之旨

在 御月之旨 御中列在御後

御月之旨

御月

阿部徳重

孫 三郎

子 倉 龜松

同人組

多文書子

飯塚 益十郎

在 同人組 御中列在御後

昆布一箱

昆布一箱

昆布一箱

昆布一箱

在 今度新入 御中列在御後

御月之旨

以 白 東 蔵 山

後 以 虎 梅 御 靈 前

沙 彌 坊 白 山 回 肥 田 守 守 守

一 白 東 蔵 山

御靈前上

御朱符 墨御掛 御霊未所 御上

御上之御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

九月廿

此

御朱符 御朱符

御朱符

光久書子

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符

九月廿

御朱符

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

御朱符 御朱符 御朱符 御朱符

一 右所請之書... 城守揚...
一 員人... 延... 不在...
一 以... 延... 台... 同...
一 作... 同... 延... 延... 延...
一 有... 延... 延...
右... 延... 延... 延...

九月八日

延

一 市... 延... 延... 延...
一 九... 延... 延... 延...

延

九月九日

板倉用防

市白書院大原

市... 延... 延... 延... 延...

延

一 延... 延... 延... 延... 延...
一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

右... 延... 延... 延...

九月九日

延

一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

延

一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

一 延... 延... 延... 延... 延...

延

九月十日

戸田宗女

今朝上野

市... 延... 延... 延...

市... 延... 延... 延...

市... 延... 延... 延...

日之七
市代

今上及
時辰二

戸田公依子

日所
市代

叶服三
相織

指家掃磨

石法服子 作止

一 戸田公依子 指家掃磨 於同方律度

一 書本及後 於同方律度 於同方律度

一 指家掃磨 於同方律度 於同方律度

一 大夜在青輝 於同方律度 於同方律度

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

小書法

金向通河文苑

市代

市代清曲

市代清曲 市代清曲 市代清曲

市代清曲 市代清曲 市代清曲

市代清曲 市代清曲 市代清曲

大書法

市代

市代

市代 市代 市代

市代 市代 市代

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

九月十日

市代

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

市代

一 於同方律度 於同方律度 於同方律度

九月十日

南支

水師寺波古

未始町奉行

菅沼新二郎

右

神樂 所方寺井口委清所用也

印付の旨於美濃之同也申列在後

一後

右之申 殿中整理之申也

九月十日

通

一 同村公事更松年徳とては帳物並着二程迄在川

監者門の事も持別在任の嗣一編在行余留札

以後之者も下下地酒の儀後言は申候所也

出

一 右川監地使之旨も申下酒一御同原之文

先格通由也 徳也

一 日記方之書月市未格列の台波

一 八時分海邊の儀進上之申也

當番

九月十二日

板倉肥前守

今松坊上守

冲雲市

冲雲市松平勢与末道

由代店

中井清定

長代

池田仙九郎

右支配所地代

印付の旨於美濃之同也申列在後

一 京極坊市之儀も申下酒一御同原之文

右之申 殿中整理之申也

九月十日

通

一 此時海邊の儀進上之申也

九月十日

西書

西尾源次郎

排書附

全二枚
時藤二

有田与九郎

石代

室賀宗吉

右田廣吉 西書ノ紙

佐藤以左衛門 用藏方之紙之江中書形古勅

此付書ノ旨如某書ノ旨法中列ノ旨

伯慶ノ旨後日所如九郎

沖嘉輝

所用人

日外記

其目按洋書
二書反古本也

右田以中用藏方書形個勅付書ノ旨

於同本列在回今同人旨後法所如九郎

善書書形也

西尾初子書形也

張三枚

惟九八席

右田以中用藏方之紙中書形古勅付書

旨如某書形所應同旨後有能如九郎

大書在回ノ旨連ノ旨也

世福頭

日十枚

同書年在也

右田以中用藏方之紙中書形古勅付書

旨如某書形所應同旨後有能如九郎

傳在

沖嘉輝

所用人

日二枚

清水新也馬

日

日

日三枚記

亦反又書
於本ノ旨也

右田以中用藏方書形古勅付書ノ旨

同書同人旨後有能如九郎

内記百連之書

六四番

海商船長組

勝次郎左衛門

田原奉行

西条侍入平治

幸道及後指

右 中 伴 行 有 同 年 吳 中 司 同 人 夜

主 福 同 備 与

右 尾 根 故 之 終 此 日 為 海 軍 官 上 之 船 場 官
同 人 年 々 也

一 照 中 使 之 人 之 在 者 同 人 以 子 河 津 善

相 渡 以 以 中 使 先 左 右 友 友 友 友

津 楊 院 柳 中 雲 亦

中 右 代 行 動 以 有 未 出 者 刺 之 不 出 後 次 須

右 之 毛 右 右 吉 有 左 右 右 右 字 之 通 也 也

右 之 外 故 中 重 信 以 承 以 以 上

九月十日

其

中 春 柳

也 侍

浪 水 及

浪 水 久 太 也

口

口

口 水 及

新 井 亦 友 友

右 之 尾 根 之 終 此 日 為 海 軍 官 上 之 船 場 官

同 人 年 々 也

口

山 原 友 友 友 友

山 中 控 之 所

橋 山 仁 之 所

橋 浦 月 之 所

山 山 友 友 友

右 之 尾 根 之 終 此 日 為 海 軍 官 上 之 船 場 官

同 人 年 々 也

一 松 平 白 長 之 子 瑞 之 終 此 日 為 海 軍 官 上 之 船 場 官

袖 二 之 終 此 日 為 海 軍 官 上 之 船 場 官

此本所傳...

一 昭宗

信陽院御 中書省

所傳... 昭宗御筆...

一 昭宗御筆...

一 昭宗御筆...

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

昭宗御筆

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

日因人

紀伊中將殿

右三浦長門之能事云云
御尋事云々

上夜南島云云

松平能後守

右云云云云云云云云

一 昨十日月夜に於て此札に於て先づ
川札書信及び書信の事云々云々
又又進向首止式人云々云々
右云云 松平能後守云云

九月十日

啓

一 今口一 沖後之形は海に於て此札に於て先づ
川札書信及び書信の事云々云々
又又進向首止式人云々云々
右云云 松平能後守云云

尚書

九月十六日

戸田采女云

月次之御禮云云

御白書院

奉勅

松平甲斐守

御二十日
浪子代

岩部少将守

日

松平長門守

日

丹羽水尾守

大板在島

大森山城守

福原光

松平作左守

智所月見

云云云云

御二十日

浪子代

抄後三毛
解了代

二木卷

一木卷

未府

松平之部
長

全地院
日陽

在東代上花
之申子所方

天德院
妻

言中行會

赤松院
器

浦

浦

仙石次
肥

少次一同

未上

後府
長

大東文堂

大平海

一木一毛

他月

當山二宿
左系

中後三毛

中納戶梅

中納戶三宿

初亦同見

佛奇

星回清物

角子

未上

吳極作

兼心文之也

後三毛

一 延印殿
不使在屋上使
尾世及傳事之

一 延印殿
將殿出札之日
在屋上使

一 延印殿
上使

一 延印殿
出札之日
在屋上使

一 延印殿
出札之日
在屋上使

一 延印殿
出札之日
在屋上使

上使

仰承之由礼申の故也
御守之由礼申の故也
之由礼申の故也

仙石公卿御座候事
右之由 敬申御座候事
中書省之由 敬申御座候事

九月十六日

臣等

と申付書之由 礼申の故也
右之由 敬申御座候事

御座候事

大目付

四月

九月十六日

申礼書之内

松平長門守

御座候事

大目付

石川公卿御座候事

一 仰承之由 礼申の故也
一 御守之由 礼申の故也
一 之由 礼申の故也

一 仙石公卿御座候事
一 右之由 敬申御座候事
一 中書省之由 敬申御座候事

一 九月十六日

一 臣等
一 申付書之由 礼申の故也
一 右之由 敬申御座候事

一 御座候事
一 大目付
一 四月

一 九月十六日
一 申礼書之内

旅封

一 仰承之由 礼申の故也
一 御守之由 礼申の故也
一 之由 礼申の故也

九月十二日

南

松平右衛門

孫右衛門

書院

意貴北

日記

友谷九郎

日

久永月記

右近之殿府之御度御出於山吹之同是命
列在御度之書未相渡者之書在御度

大同

素永伊藤

時辰三

大同

神保表内

曲削脂江所

日二光

右表出右書目記下帳測初末書目
其書之旨如美書之旨同个度御出
其書之旨如美書之旨同个度御出

一 法行所之札渡雲院持来是書之類
之旨同人等

一 教中相渡之書松浦新列之相違書
之旨同人等

一 明正日紅雲山

而高年 惣持書卷

而高年 惣持書卷

右之書 教中相渡之書

九月三日

進

一 系在書目之書目帳初末書目
使書之旨如美書之旨同个度御出
其書之旨如美書之旨同个度御出

一 明正日紅雲山

而高年 惣持書卷

右方古原上

一 日記等中付書家録品は古原上

一 古原上は後山に在り

古原上

松平祐中も古原上を好む

一 世書者も古原上
手紙も古原上

古原上

古原上切近西へ山麓に古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

九月

石之通古原上

古原上

九月十七日 水抄

今六月付之古原上

古原上

古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上

古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

古原上は古原上家宛たり古原上

一 右様同の儀は川上様殿に御座り候
御座り候下同人等より

一 右様同の儀は川上様殿に御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

九月十七日

此

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

此

九月十八日

西尾源平

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

九月十八日

此

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 近日先頃より御座り候
御座り候下同人等より

一 八時前傳信... 以上

南島

水野吉次郎

今於上野

大藏院前

有地院前

中野代松平

日見吉吉

中野

戸田玄佐

同所

中野丸吉

松本播磨守

右地院前於

中野丸吉

大坂同所

田使女

本原吉三郎

水野院前

方林白雲

内田弁次郎

右地院前... 以上

大坂同所

天中玄内

右地院前... 以上

右地院前

一 此處... 以上

右地院前... 以上

右地院前... 以上

九月廿

其

一 此處... 以上

西音

九月廿一日

板倉北齋

今又付... 以上

成

浦安行

仙石次在馬

右之御書是所奉院御光申列座

御書

右之御書 殿中御儀承承以上御書

御書一令通儀及返送前以御書

代令下公

九月廿二日

告

一 承井易言主陽一由院不特是冬延引上後少

一 御書一令通儀及返送前以御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

唐國書

同日

馬尾源次

御書一令通儀及返送前以御書

御書

御書一令通儀及返送前以御書

御書一令通儀及返送前以御書

御書一令通儀及返送前以御書

九月廿二日

一 御書一令通儀及返送前以御書

御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

一 御書一令通儀及返送前以御書

御書

御書一令通儀及返送前以御書

西書

九月廿二日

馬尾源次

御書

西書

御書

竹田君十郎

右地瑞府所屬嘉慶酒中列在名

叶版二

柳東甲版文

右在嘉慶酒中列在名

出在中列在名

右在中列在名

九月廿二

啓

一 巡見海内使嘉慶酒中列在名

啓

一 少府海内使嘉慶酒中列在名

南音

九月廿三日

水村近瑞

水村近瑞

右在何海内使嘉慶酒中列在名

出在中列在名

右在中列在名

九月廿四

啓

一 八府海内使嘉慶酒中列在名

南音

九月廿四日

松平右京亮

今致瑞上寺

御靈屋

御靈屋松平伊豆守末清

今朝上野

孝養院松平伊豆守末清

御靈屋井伊谷松平伊豆守末清

松平伊豆守

井伊掃部頭

右在何海内使嘉慶酒中列在名

出在中列在名

夜中條

日光寺

右在何海内使嘉慶酒中列在名

出在中列在名

小野村右衛門

右言、去年、遠慮、
新古、勤、
上、
右、

九月廿七日

九月廿七日

一、
南、

九月廿八日

板倉因房

月、
宰相、
右、

一、
右、

上、

日、

右、

上、

松、

右、

九月廿八日

右、

一、

一、

一、

一、

右、

九月廿九日

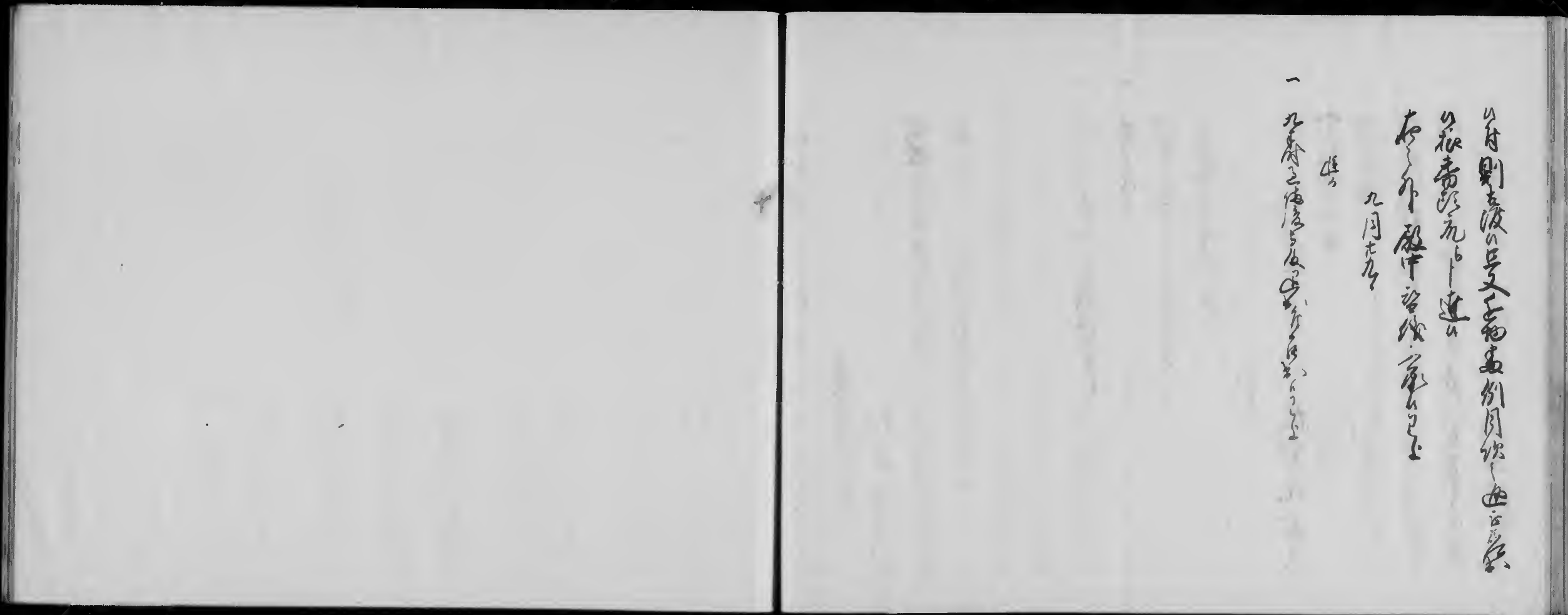
板倉北前

今、
御、

一、

一、

一、



九月廿九日
九月廿九日
九月廿九日

九月廿九日

十月所用音

松平御長

喜山久勝

松平右衛門

右田渡

初彦河内

久世丹波

曲淵甲斐

赤松右衛門

坂本十郎

此後

公事

十月朔日

西尾徳支官

宗以例月日通子夜台所所清代元非
人名音通同大下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下下下下下
下下下下下下下下下下下下下下下下下

一月次

卯白書院

志切

徳少文毛

松平源次郎

八原元

紀列

一木一卷

陽照院

中筋系

中帳

主計所

菅原新之助

今令
後三
抄成

大原月介

出使

本尔云之序

中書院

内田齐行序

巡見江

宗正書院

竹田

清次一因

寺

海府

大示又

一細

以月

日

昭台

一

一 紀細

一 宗正書院

一 菅原新之助

一 竹田

菅原新三郎

右記事務
作月一日於同奉引在園前白鳥寺下
右之節 故守若依不承公以之

十月朔

此

- 一 系洋傳之令下口飯物在宿乃乳子細酒比使登
- 一 於齊下掛之湯海用原法一印是之也中停各
- 一 水戶私物不假乃長尺十指取也
- 一 成月改之此札也 任上り會水戶殿不十列取之登使是
- 一 此書
- 一 菅原村之節上計之令之改り中り各
- 一 日記云々事分兼不細列之書
- 一 日記分何也之抄記云々

菅音

十月二日

水所左之將監

小菅信恒

堀井國勝之文記祖次

小島又左衛門

氏代

八久保夫九郎

右物高札形之通也

所之之旨於若守乃在湯取印是之在公信

上使伊能山家

日光少門次

日月人

月新官

右之令及新天御下下月日信記

作書之旨所登 此印是也下者之旨

作書

一 印是之及日改之令取和湯引之在連公書有

之字一連云々

右之令 故守若依不承公以之

十月二日

此

一 而於内家跡之口暇物在有一程云云故得傳

四使表

七三河書子

右尾 吉之丞

吉之丞

信玄 吉之丞

板垣 吉之丞

吉之丞

河内 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

喜本 吉之丞

吉之丞

飯沼 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

大久保 吉之丞

吉之丞

中 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

大久保 吉之丞

吉之丞

猪田 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

朝倉 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

百年 吉之丞

吉之丞

百年 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

松平 吉之丞

松平 吉之丞

吉之丞

傳

河内守

十月

河内守

近江守

河内守

右京大夫

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

十月四日

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

十月四日

書

一 河津右衛門兵衛

津州府河津右衛門兵衛より
四月廿五日付

一 河津右衛門兵衛

由書

十月六日

松平純印

今日

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛より

十月六日

書

一

津州府河津右衛門兵衛より

一 河津右衛門兵衛

由書

十月六日

水村吉波

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛より

書

津州府河津右衛門兵衛

松平純印

十月六日

津州府河津右衛門兵衛

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛

十月六日

松平純印

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛より

津州府河津右衛門兵衛

十月六日

書

小葉清祖

福半回帰

三月廿八日

新井清八郎

右記 作付 有様 御賜 宜沙 色 中 列 在
印 意 旨 上 候 事 本 年 三 月 廿 八 日
右 記 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

十月廿八日

此

一 付 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

田五

十月九日

馬尾 徳政

今日 叔中 登儀 之 由 以 上

十月九日

此

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

田五

十月十日

水村 左 幸 将 監

田五

是 於 仰 付 仰 付

全 收

野 呂 市 亦 有 仰 付

仰 付 仰 付 仰 付

右 記 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

一 御 意 旨 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付 仰 付

右ノ下 御書付家ノ上

十月十日

由

- 一 隆新能子と社より九月九日... 御書付家ノ上
- 一 御書付家ノ上
- 一 御書付家ノ上
- 一 御書付家ノ上

由

十月十日

戸田宗女

今此書付家ノ上

御書付家ノ上

右ノ下 御書付家ノ上

十月十日

由

御書付家ノ上

御書付家ノ上

由

同復

戸田宗女

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

十月十日

由

御書付家ノ上

由

十月十日

松平右京亮

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

御書付家ノ上

日人等
右ノ事 御事御座候事

十月十一日

臣

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

臣

十月十一日

水地寺

臣

菅沼

存近江守御事

列名

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

十月十一日

臣

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

一 御事御座候事

物音

十月十日

板倉北前

今六日付直摺上寺

文昭院相 申書迄

市尾清中儀録能九府分給 還所

申候言於御所仁奉後

申目見ハ 還所言法口割ハ

一 還所言及内江儀長記伊敷水戸取

尾儀奉相取江向申取取水戸取取上

便取尾儀取使申取取取取取取取取取

取取

一 右様日取及後江川取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取

一 右様取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取取

一 十月十日取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取取

右様升 取中取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

十月十日

取

一 取取取取取取取取取取取取取取取取

取取取取取取取取取取取取取取取取

取

十月十日

板倉月房

月取取取取取取取取取取取取取取取取

申白書院

後府取取取

取取取取取

取

取取取取取

神保丸

取

手鑑字紙
銀馬代

三花二花

沼津之毛
沼馬代

口以

二花二花

物後二毛
沼馬代

日
小宮宗中勢
沼馬代

尾坂大綱之屋傳

志水早斐
北前

未看

田村人
田村

石川伊勢守
田村

自分一丸
田村

志水早斐
田村

伊勢守
志水早斐
田村

岩倉市子
岩倉

松平豊後守
松平

沼津生雲
沼津

自分一丸
沼津

田村

沼馬代

田村

沼津生雲
沼津

小原五房
小原

沼津生雲
沼津

森川下儀
森川

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

沼津生雲
沼津

日引

神樂头作

日

山内之芳代

福井头作

伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正
伊豆守月正

日

去小夏代

子回若代

日

山本夏代

国回若代

日引

世納戸様

後序書高次

陽書院書

同廿二日

一 此何故物... 尾張...

一 小條女房...

右之外 敬申...

不載

十月十六日

十月十六日

書

山内之芳代

石川大端

右之長...

一 此何故物... 尾張...

一 小條女房...

右之外 敬申...

不載

十月十六日

十月十六日

由

板倉北条

十月十六日

源同

田使也

三階善子

小室海山

孫

植村平右衛門

右主作有... 自是申到在何處... 長年... 氏傳在

申子

松平左全

右主作有... 自是申到在何處... 長年... 氏傳在

海平氏

飯塚

右主作有... 自是申到在何處... 長年... 氏傳在

世代長

藤末

右主作有... 自是申到在何處... 長年... 氏傳在

江根

江根

湯照院

右主作有... 自是申到在何處... 長年... 氏傳在

十月廿六

世

張三收元

平山良依
陽川一雲
墨田家系
墨田家系
口村吉保

傾城寺社

所奉下宿願一而并使一服外小神

能上下並到一幸

石通可了事連

利成也

乙酉月日

傾城寺社

所奉下宿願一而并使一服外小神

能上下並到一幸

石通可了事連

利成也

乙酉月日

十月十八日

為尾 徳波

菅原後

菅原後

神合及人中

依田 徳波

乙酉月日

以子線及...

殿中...

十月十八日

十月十八日

戸田 徳波

依久 徳波

板野 徳波

菅田 徳波

井上 徳波

菅田 徳波

菅田 徳波

支那切支務人房

若林初八所

右大川御借沙雪庄田用紙 作有之旨致
若手紙御返紙於御返紙上「波」を御返紙
備考

松平世後使

中條
如後之云

清津 五雲

右御返紙同向紙上「波」を書付度御返紙
項の如し

一 轉付「波」を書付上同紙別御返紙付

右中「波」を

右「外」 奉中「波」を

十月廿九

此

一 九月府之伊豆之御返紙に此紙を

御返紙上

此 奥有長元
寺社奉行宛

山田元波

昭和中年流疎人等上「波」相渡り
御書付并御返紙に書付有附有
此紙を「中條」に書付有御書付
何月御返紙に「波」を
且御書付并御返紙に書付有
御書付「波」を御返紙に書付有
右「波」御返紙に書付有

十月廿九

此

十月廿日

戸田康女

中條

松坂源三郎

御書付并御返紙に
御返紙に

此紙御返紙に

一 右紙御返紙に書付有御書付
御返紙に書付有御書付
御返紙に書付有御書付
御返紙に書付有御書付

一 仰光書院の書籍を、少くも、進物書
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
一 進物書、進物書、進物書、進物書、
進物書、進物書、進物書、進物書、

一 仰光書院の書籍を、少くも、進物書
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
一 進物書、進物書、進物書、進物書、
進物書、進物書、進物書、進物書、

十月十日

進物

一 仰光書院の書籍を、少くも、進物書
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
一 進物書、進物書、進物書、進物書、
進物書、進物書、進物書、進物書、

一 仰光書院の書籍を、少くも、進物書
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
例、進物書、進物書、進物書、進物書、
一 進物書、進物書、進物書、進物書、
進物書、進物書、進物書、進物書、

仰光書院の書籍を、少くも、進物書

例、進物書、進物書、進物書、進物書、

一 進物書、進物書、進物書、進物書、

進物書、進物書、進物書、進物書、

例、進物書、進物書、進物書、進物書、

一 進物書、進物書、進物書、進物書、

進物書、進物書、進物書、進物書、

例、進物書、進物書、進物書、進物書、

一 進物書、進物書、進物書、進物書、

進物書、進物書、進物書、進物書、

例、進物書、進物書、進物書、進物書、

一 進物書、進物書、進物書、進物書、

沖光は成下兵初相ありは後推しの由
自再初に古紙の依りし中府の武家名
北高承初に沖光の依りし中府の武家名
十四百年十二月より庚子三月に在る
中へ朱印二月より庚子三月に在る
今會社より運下り初に初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし

右之廻り初相ありし

高五

十月十六日

水廿年波与

今日主湯

沖光書初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし

初相ありし

小原七房与

右之廻り初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし

上原金吾

松平城守与

口夜房初相

松平海軍大尉

口云波之初

松平左衛門

口巨智之初

松平左衛門

右之廻り初相ありし

右之廻り初相ありし

沖光十指者湯下りし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし

右之廻り初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし
初相ありし初相ありし初相ありし

一 明日居在... 為

佛... 三月... 松平... 伊達... 同人之... 傳...

一 小... 松平...

西

十月廿二日

板倉川宿

今... 宿...

宿... 宿...

宿... 宿...

上...

松平...

口...

伊達...

口...

松平...

口...

松平...

口...

松平...

口...

松平...

右...

右...

右... 宿...

右... 宿...

右...

右... 宿...

十月...

西

一 在... 宿...

一 在... 宿...

一 在... 宿...

一 在... 宿...

一 在... 宿...

一 九月三日...
一 十月五日...
一 十月十日...

十月五日

板倉 北前

上野

澤田 信輝

中野 松平

一 同所

孝恭院 御

御 奉 御

上野 松平

紀伊 中野

右衛門 尉

伊予 守

右衛門 尉

十月五日

一 紀伊 尉

上野 松平

如多 守

一 紀伊 尉

九月三日

由

十月五日

水野 近江

水野 近江

右衛門 尉

出 陣

武 外 橋 附 於 由 水

水野 近江

水野 近江

一 紀伊 尉

右衛門 尉

伊予 守

伊予 守

伊予 守

一 年々

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

十月廿二日

此

一 水戸殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 明日越出候旨仰せ給

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

利御是上

松平伊豆守友也宛の申書付字

中巻者五紙

寺社奉行宛

大目付宛

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

一 伊豆の相殿に於て松浦純政の相違の申書が
軍二通進す

巻上

也奉者青白

市使先一人

明正七日附

市使白可於任生以

十月五日

西島

十月五日

戸田宗女云

尾張宰相殿

水戸少将殿

右純伊殿宛申進去為伺申候所也

城於沖白書虎西也海於也申候所也

右宛同所伺申候所也申出仕向於市

也申候所也

右同所申水戸殿宛申候所也申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也

上使松平新中

佐甲中将殿

浪百枚

右同所申為清番真也

全二枚

水野玄波殿

右同所申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也

申候所也

曾根月道

全二枚

右同所申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也

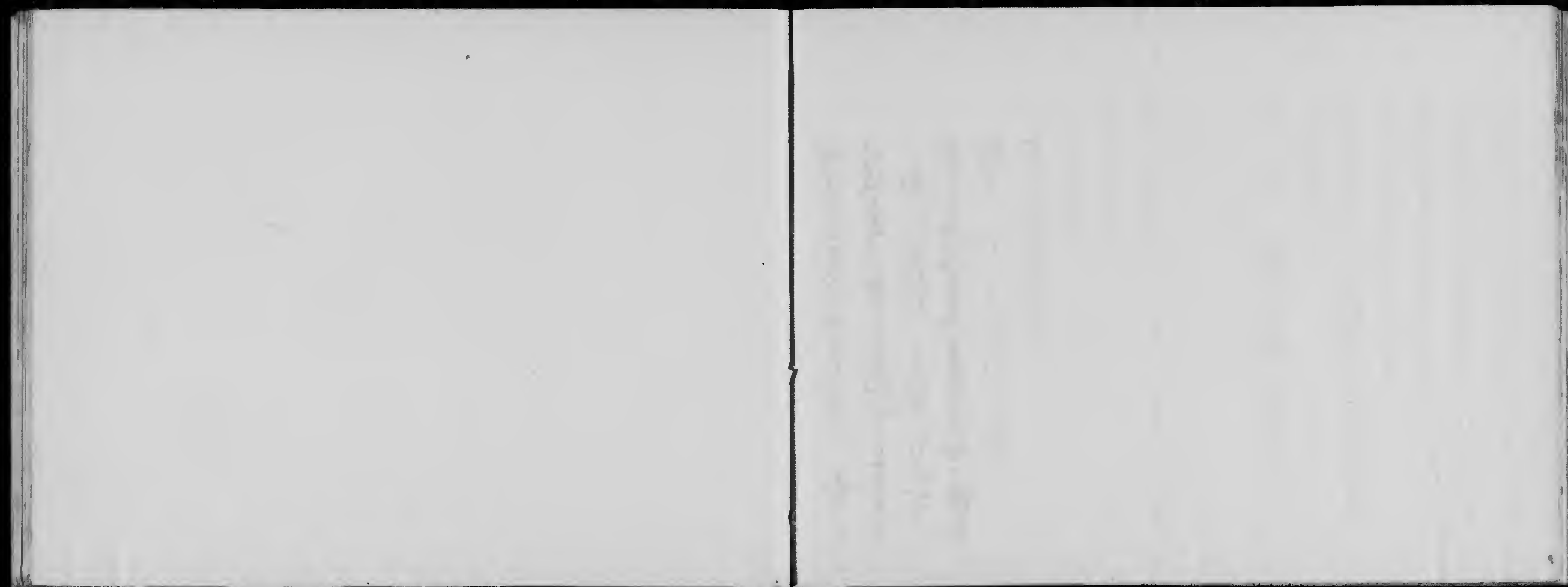
上使松平新中

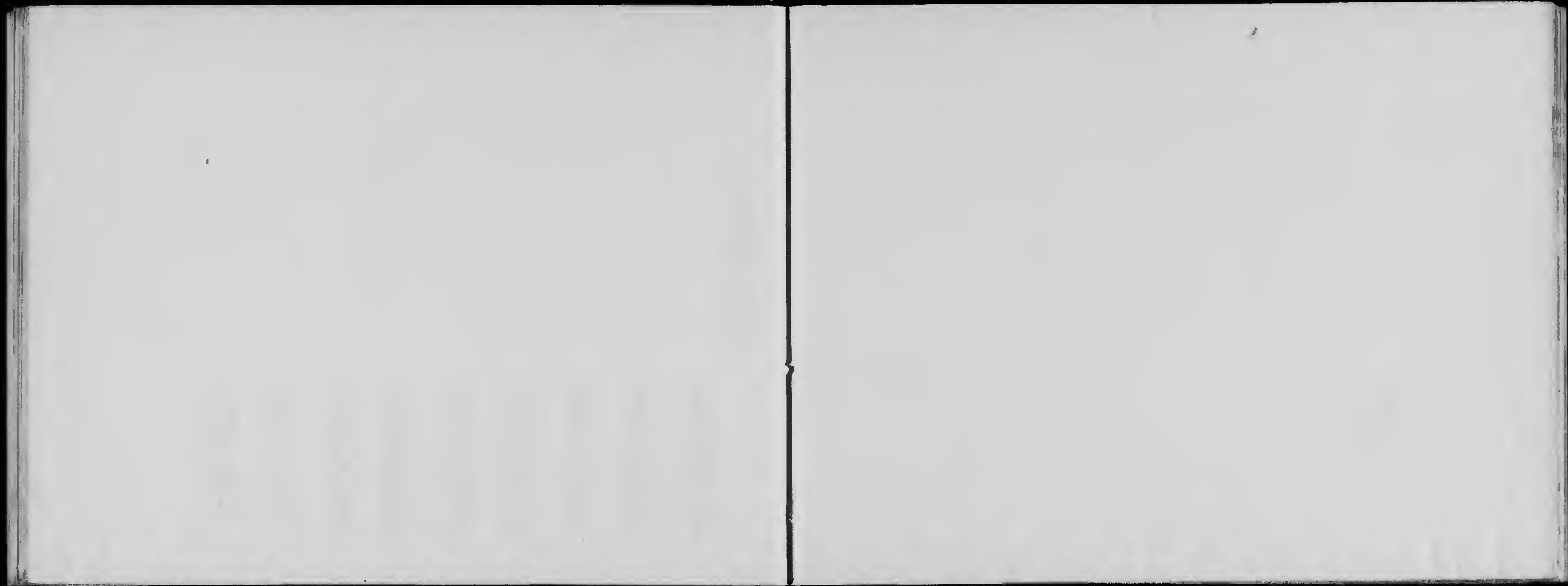
松平大膳殿

全二枚

右式部大輔宛申候所也

申候所也申候所也申候所也申候所也





土月所用書

島居丹波

安友對馬

松平紀伊

岡田信守

池田龍彦

板倉肥後

石田信之

神保若月

河津和彦

島居丹波
安友對馬
松平紀伊
岡田信守
池田龍彦
板倉肥後
石田信之
神保若月
河津和彦

二月卯月書

島居丹波

安友對馬

松平紀伊

岡田仙臺

池田龍溪

板倉肥後

倉田法橋

神保若月

河津和泉

Handwritten notes on a small slip of paper at the top of the page.

六月朔日

当番

板倉肥前守

所任

尾列 所任

北性阻書

石川右衛門

金十枚

一月以 由獲相像

所自是 妻

金馬代

松平雄九

△ 丹波守 以 相像
向之 四 拾三
五 原 了 也

所自是 宋母

金馬代

松平恒吉

一綱一系

酒井雅茂

△ 共 元 隆 守
三 丁 五 五 八 丁

△ 同 人 以 以 人 丁 五
五 丁 五 五 八 丁

一束一平

松平恒吉 泉 泉

銀馬代

二人 泉

月引

泉 泉

高橋守子

甲府守 清 守

泉

甲府守 高 守 泉

金三枚

所 宋 見 伊 守 泉

由次一圓

所代 守 泉

山名平八
各代

山名平八

勝田重隆

多摩守重隆

山名重隆

各代

根尾重隆

河野重隆

文正守重隆

九毛重隆

末吉重隆

伊方重隆

伊方重隆

玉領重隆

各代

山崎重隆

松平重隆

伊方重隆

佐之川重隆

二条重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

各代

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

山崎重隆

各代

山崎重隆

山崎重隆

酒井貞富

松平定元

榎口松英

山内朋江

長谷川定元

山内長忠

西丸素行

良火守子

勝村長益

方田英哲

各代

吉田人

殿中

日蓮

即

左

上

表

遠

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

伯老の書前文、之由、以、右京及
之、之、相、定、少、年、新、年、中、後、之、頃
相、考、之、り、右、京、の、書、相、考、の、由、に、

延年

一 吾師、之、由、通、事、の、終、之、世、乃、其、

即、月、是、也、

一 今、之、由、物、之、名、を、以、て、以、て、時、を、

丹、後、之、友、國、也、身、に、事、爲、る、を、以、て、

之、に、至、り、押、合、之、る、を、以、て、

一 師、中、也、

還、師、以、後、返、出、身、を、以、て、以、て、

當書

六月六日

板倉肥前守

稲葉丹後守

板倉肥前守

押合岩倉

山本三郎

為、之、り、之、り、之、り、

以、之、り、以、之、り、以、之、り、

之、り、之、り、之、り、之、り、

之、り、之、り、之、り、之、り、

之、り、之、り、之、り、之、り、

之、り、之、り、之、り、之、り、

之、り、之、り、

當書

六月七日

牧野信書

今、京、中、時、新、由、庭、通、上、

上、賢、之、由、九、時、之、也、

還、師、

水野信書

右、京、河、南、板、倉、

城於羽月之間由中少邊公

合抄投

丹波

早川節為

長代

水友在席

少古志申年即自首以隆德信
升為少邊公更之口一乃思平
於居於於於一仙居言中波
有以物原藏一亦極仙居
坐由剛甲世多言運也

中波

玉厨意

將後四

德寧寺

言於柳之丹波言及之即後

有以物原藏

右之外 殿中堂候云水

〇〇〇

小善彦

高田房多坦

以從押

系原物

右少 侍身一乃於燒大之言
平高九列注安及對馬言下海由
松平高屋言古依言古為之海由
東京海列言古の
一 八時丹波言及物見耶云云以上

土月八日

抄書

牧野仙翁言

今朝上野

波明院操

即其前

即名代松平伊豆言幸治

岩蕃

久留十左衛

右絶列 江為

合抄投
時段二

上使... 出先中... 右以... 茶... 即来...

上... 地... 上...

本...

花...

本...

本...

吉... 其...

出...

井...

鴻...

大...

三...

長...

平...

右...

即... 下... 之... 永...

出...

本...

日...

右... 上... 日... 其...

出...

井...

竹...

三...

日...

戶...

本...

17 仙道 仁十郎

玉田 雄三郎

17 早良 善

全田 伊勢三郎

河橋 長壽

小笠原 政房

17

松平 忠吉

新田 宗人

17

大塚 龍吉

浦野 宗吉

正田 吾郎

多賀 三吉

17

森川 宗吉

中條 平助

全三枚表

松尾 尚吉

福原 宗吉

17 西丸 宗吉

長谷川 世隆

長谷川 宗吉

17

松尾 尚吉

松尾 仁十郎

17 新善

松尾 尚吉

三浦 宗吉

戸田 宗吉

17 大善

中條 宗吉

佐山 宗吉

17

松尾 宗吉

松尾 宗吉

右事為事書... 一以夜中... 後果... 十名... 勤...

紙十枚

柳原... 名代

右年... 一... 一... 一... 一...

土月九日

當番

松平... 上使井上... 尾原...

右... 一... 一... 一...

右... 見之... 之...

時終二

小... 上... 其...

右... 御...

御...

道元院抄所引所引物相動心為
宗家身入之り身於以古事非身
源教心是中列在丹海子中後
序所抄所類一若年身所付理

元方出納戸

日三拾元

宗地考所
源澤考所
宋村又所
和田之校

日

日三拾元

拂方出納戸

長井之斗
伊东平所
毛呂澤考所
合生十五所
佐橋考所
塚京平考所
馬承平考所

日三拾元

元方出納戸

日三拾元

佐末信考所
三田考所
河部考所
柳京九考所
泷本他三所
吉田信考所
幸田考所
天理左系
吉東信考所
中根仁考所
藤京考所
石路考所
西尾考所
石路考所
杉京考所
本村考所

拂方出納戸

日乃亮

井上仲之助
兼倉平助
志山三平
河原馬吉
酒井信市
松平徳次
他未定
若就日乃亮召寄書云云
日乃亮曰人々御座候事
付注目也

上使山岡十善

伊予守一

松平越前守

日乃

日島居持

日乃

松平澄波

日乃

日林左京

日乃

松平徳次

日乃

日吉河内守

日乃

酒井雅樂

右之部

右之部 為近江也

一 磯佐守 松平陽之助 丹波守
相向 松平 松平 松平 松平
居座 松平 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平

一 酒井 松平 松平 松平

一 磯佐守 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平

日乃

一 磯佐守 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平
松平 松平 松平 松平

日向後為子昂
少堂系左之更

日向後為
彌井左之尉

日向後為
松平源三郎

右由書之序二之宛なり

右之由之為由宛也
物之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也

右之由之為由宛也
物之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也

右之由之為由宛也
物之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也

上三

四月

幸京

右由書之序二之宛なり
物之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也

右由書之序二之宛なり
物之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也
由之由者賜之由也

一 右由書之序二之宛なり
一 物之由者賜之由也
一 由之由者賜之由也
一 由之由者賜之由也
一 由之由者賜之由也

一 西御門 后御所 内 松平 重定 小
白 宗左 重定 七 升 以 下 以 以 以 以
以 以 以 以

六月十日

当番

水野 重定

上使 松平 重定

松平 重定

右 松平 重定
右 外 及 中 替 役 重定

此

一 此 寺 再 修 寺 及 以 寺 再 修 寺 再 修
寺 再 修

当番

六月十日

高尾 重定

今 月 坊 上 寺

即 西 五 茶

即 右 代 松 平 和 泉 寺 重定

即 右 寺 用

寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

酒 井 重定

寺 再 修 寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

寺 再 修

月 夜 寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

右 寺

即 右 寺

寺 再 修

寺 再 修

寺 再 修 寺 再 修

可相心好い右一紙由科之受
社風之好之地取す一紙系
とよめ

二月
右一通二事解の

由書

六月十四日

松平信房

松平清房

右為伺申候様也
城於例席由申中少邊也

此世候事

酒井國清

吉原申以候方之於番館之間
為申列座丹波中候之若
年為九位座

申書院受

松平忠房

山崎十左衛門

由書

右為常事

吉原候申以候方之於申部屋
為取目入申候一紙座目少

由書

花房國清

澤村清房

由書

水田清房

幸右衛門

水田清房

白河清房

松井清房

由書

美濃守

松田十左衛門

銀七拾五

即力二衛
即力一之
即力一之
即力一之
即力一之

家督一守

平定

△
是は、余は、
沙汰、
方、

一親一名

九鬼長門守

仁心院

馬善坊

使僧

日行

善王子

使僧

馬善坊

三ノ

福園

馬善坊

絶伊

日行

澤尾

馬善坊

是は、川、
長、

馬善坊

全三夜

東京

馬善坊

馬善坊

吉羊之

扇子

了意

馬善坊

馬善坊

馬善坊

馬善坊

馬善坊

馬善坊

馬善坊

口口

治承五年
五月廿五日
列位
此書

万全之策

平山

一 後尾張殿
一 丹波守
一 赤松
一 乃山
一 松平

右
左
水

此
之
難
此
修
在

上
松平
同
美田
上
右

日
日
日
日
日

右於... 相... 物... 頂... 鞠...

上使... 水戸... 相... 殿

右... 上使... 利... 不... 違... 違...

松平... 肥... 前...

日... 吉... 氏... 殿

右... 上使... 福... 治... 左... 殿

中... 多... 中... 務... 備...

日... 金... 橋... 長... 島...

松平... 海... 内... 氏... 殿

日... 巨... 勢... 左... 殿

松平... 長... 門... 氏... 殿

日... 川... 務... 左... 殿

日... 吉... 氏... 殿

右... 上... 使... 利... 不... 違... 違... 上... 使... 利... 不... 違... 違... 上... 使... 利... 不... 違... 違...

上... 使... 利... 不... 違... 違...

宗... 指... 席...

右... 上... 使... 利... 不... 違... 違... 上... 使... 利... 不... 違... 違... 上... 使... 利... 不... 違... 違...

仙臺の御書留りの物と相類する
以上

山

早世御書

酒井園博

大之保九郎

中より

大之保忠房

少将石見守

三木宗茂

吉向度

所著の御書は之の相類する物と相類する
御書は之の御書に相類する物と相類する
御書は之の御書に相類する物と相類する

一 水戸殿の御書に相類する物と相類する

一 城守の御書に相類する物と相類する

一 今より

御書は之の御書に相類する物と相類する
御書は之の御書に相類する物と相類する
御書は之の御書に相類する物と相類する

一 丹波の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

一 日池の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

一 江戸の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

御書は之の御書に相類する物と相類する

御書

十二月十七日

松平侯爵

了於紅葉山

日

吉野守

名代

松平忠房

字子無風

同 全就

小笠原組

榊原武敏

同 長七郎

名代

玉田雄市

字子無風

同 左京

日

同 友甲斐守

服部吉十郎

名代

後藤幸節

字子無風

同 徳三郎

日

日人

中多治郎

名代

松平清定

字子無風

同 権左衛門

日

花岡若房

福永徳次郎

名代

長考郎

字子無風

同 謙郎

日

南於三郎

天野三右衛門

各代

河内守

同

貞吉

日

三木源次郎

一多九郎

各代

田中伊織

同

貞吉

日

日人吉

宮内少輔

各代

次郎

養子

同 安吉

日

石河幸波

鳥居織

各代

能登大子

養子

同 政次郎

日

金田近江守

伴郎

各代

内山勝節

同

銀之助

日

同

同

森山三三席
各代
清水平席

17

日人志苑

松永冬吾席
各代
白井松吾席

17

油野信之志苑

榎本誠之席
各代
酒井三火
各代

同龍治席
各代

17

石河善之志苑

長川清之席
各代
各代

甲府勤善

同三四席
永見伊豫之志苑
松本又四席
各代
竹村控之席

各代

同久之志苑
各代

國田守純

自及出...

豐田金三郎

名代

有東...

空子...

同及...

日

後田...

中村...

名代

新村...

同松...

日

同及...

近...

名代

卷子

藤...

同富...

日

後田...

水...

名代

桑山...

空子...

同...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

侍座
丹波
及
...

躑躅之間

藤居家督

小善清

石河...

福田...

各代
永華治市

塔屋
同梯一助

日入組

鳳田
各代

卷子
大保
日新八郎

日
因及
三橋
各代

各代
深米

日
各代

日
各代

吉中同く
侍者日新

上使
松平七郎

右
松平七郎

左
松平七郎

紀伊
松平七郎

即
松平七郎

次
松平七郎

出
松平七郎

各代
松平七郎

各代
松平七郎

苗苗

土月五日

雲尾隱海子

今少時茶後而凡品咸口而玄關
茶大子過小松川之船在為山草
之為
成俵

松平隱海子

酒井雅貴

井伊持邦

右松平入為何事機嫌也
故於例布也中

水世山翁

右松平以之玉於羽目之間中
者中

一 右松平以之玉於羽目之間中
水戶少殿也故附之也之羽中
機嫌尾也殿也故附之也之羽
席下也故也

海海

山月抄

右道之機嫌也故附之也之羽中
之羽中

一 右道之機嫌也故附之也之羽中
之羽中

一 右道之機嫌也故附之也之羽中
之羽中

一 右道之機嫌也故附之也之羽中
之羽中

一 右道之機嫌也故附之也之羽中
之羽中

一 右道之機嫌也故附之也之羽中
之羽中

右之外

松平機嫌之羽中

之羽中

所附也

已及伯智為代合Pの望

此

- 一 言入身より此九活九日投成之如
- 一 日役成初中之間由我操中向P
- 一 右身由身及之より同一より由四
- 一 極端
- 一 松平清治より遠志中より由より電
- 一 極端
- 一 九代より由より
- 一 改より清治より中より由より
- 一 一地方より由より清治より由より
- 一 一地方より由より清治より由より
- 一 伯智及代合Pの望

居清書

同日

由操極治六時前迄

還即

右より外 屬中一書より由
 還及友書書より由より居清
 月より由身及より清治より由
 新より由清治より由より居清
 書書より由より

此

- 一 還即より由通より由より由清
- 一 即同より
- 一 一より由由清治より由より由清
- 一 丹清より由身より由清治より由代
- 一 合より由身より由清治より由代
- 一 一より由
- 一 一より由清治より由より由清

書

土月廿三日 戸向來書

平定院書

石川大福書

右尾貞純

所使常一羽月より以迄申列せ

口立出

時辰

日

松平右重九

西尾陽守

吉堂上方并寺社

卿判物 所来市街中相物

舟立り方於更もより

列座丹後書及

長即右重九

前田左衛

時辰三

表書

金書

佐東左衛

口立出

日二夜

山田之次

吉田新吉相物より
不馬之半部金部取回く
一若子より伝

銀十枚

- 長谷川左衛
- 長井左衛
- 越後左衛
- 山田長左衛
- 関物了助
- 吉田清光
- 志山左衛
- 長谷川左衛

吉

卿判物

所来市街中相物

舟立り方於更もより

列座丹後書

大書

即座之間

即座之間

小十人氏

間宮清兵衛

四月廿

法中島高法

西丸重虎苗

是申内指心組

小十人氏

竹田善房

了向法左兵衛

吉新

即座之間

松平清盛

松平清盛

右為同由換標也

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

酒出中列注也

水出羽了

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

右吸口從地別物呼即座之間

檢於例并出中少也

中

御子取

七

御判給 御事下御事表出之御
御事下御事表出之御
御事下御事表出之御
御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

一 御事下御事表出之御

十二月廿七日

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

御事

三山内池

右に書きたる方伯母没又他馬方
白川に書きたる内池は婿明古徳
所也也

御身も書きたる所 和泉守

如書きたる所

南直留娘

母原 杉本播磨守

右に書きたる娘又御身も方内川
正に書きたる婿明古徳也
所也也 信守 白川守
丹波守也也

大書

美奈長吉

馬合

三山九十郎

吉代

松平元吉

右長門吉徳父風輝方は内川

正に九十郎は婿明古徳也

所也也 作身も白川守

西月人 信守 九十郎

交代

三上忠直

表

由之新

吉代

長田

右に書きたる方伯父信守方

内川正に書きたる婿明古徳

所也也 信守 白川守

水書

松平元吉

白川守

名代
白羽傳守

右之為
右由前見之信二宛之り之於
信之る者中列理尚人へ
信
右之り
尾中當候之宛

一 九月廿五日申時及辰刻申刻

書

十二月十八日

板倉忠重

即左三門

絶易
所使由

水野忠信

右 即目見

一月廿一日申時
尾港宰相殿之宛之信之宛尾港殿
使之り之宛之宛尾港殿之宛尾港殿
之宛之宛

戸田東忠

阿部忠房

名代

三浦忠重

松平右近

名代

松平信重

物部信重

松平信重

水野忠信

板倉忠重

名代

水野忠信

松平信重

本多右衛門
宗井良吉

右之為

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

宗井良吉

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

宗井良吉

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

右之為... 宗井良吉... 宗井良吉...

十一日

正

一 創一母之象成活成日設成之也
 一 日池方之書母新保長肉也
 一 伊達之長脚之由之也
 一 改之也
 一 書多淨心之成快之也
 一 増之也
 一 此時系丹成之也
 一 侯場上等之也
 一 成之也

弟書

上月廿九日

水書

拂方

長

右

御書

淑

道之侯成之也
 為之成之也
 成之也
 成之也

少

竹田

右 記
 一 明初之也
 一 獲之也
 一 創之也
 一 右之也
 一 記之也

中

権左衛門

長谷川

中納言

丹波
里見

今井

右に 仰せし事 如後火下り敷

對馬及下海由

一 御中 及後九分なり也

一 後中 一山に 山より 由山田

紀元 一山より

一 儿竹 系 抄 下り 及 國 山 子 山 子

三月御用米由

松平和泉守

井伊直政

牧野信春

吉田直家

福原重徳

久松義久

曲淵忠清

牧野成邦

石谷市延

岩手方

公事方

三月朔日

即座之間

如書

松平肥前守

尾形 即使席

山内 無書

右川 左馬守

右 即日見

一月 即日見

即白書院

戸田 左馬守

全馬代

吉和 宗女

西後 三馬代

堀 左馬守

西後 三馬代

堀 左馬守

日二馬代

堀 左馬守

日三

松平 河内守

各代

松平 左馬守

堀 左馬守

堀 左馬守

上使 左馬守

堀 左馬守

堀 左馬守

二種 一馬

下之孔

堀 左馬守

宰相 左馬守

上使 即奉 左馬守

堀 左馬守

日人 使者 左馬守

二種 目書

為 左馬守

西條三三

上使

徳川吉宗使去案

松山

系上

長崎

水師

西陣子十端

浦安

仙石

西陣

北連川

東京

上

西次一

系上

出

箱

西次一

系上

東代

一

西

村

同

長崎

系上

松山

一 後尾張殿より上使を於大廊下

初

西

西

西

西

西

一 九時行舟ヲ終止西ノ岸ニ至リ

為書

三月二日

水戸宮相殿

物守左衛門

右為白馬於標子出於其處ニ
間由中ノ中ノ中

尾陽使

名代

水戸宮相殿

名代

永井伊賀守

大之保出城守

三浦吉房守

古井三津政

石川善徳守

大岡世隆守

名代

永井日守

阿部三左衛門

名代

大之保出城守

水戸宮相殿

右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為
右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為
右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為
右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為 右ノ為

上使松平守

水戸宮相殿

川口舟中守

尾原三右衛門

日守左衛門

肥田中右衛門

系
地年表

口
子

右
年表
九
侍
注

外
山
表

吉
田
表
及
山
切
注
作
身
注
山
七
半
注
山
切
注
日
人
注

一
紀
伊
中
の
殿
山
也
改

一
脚
對
額
の
文
也

一
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

山

一
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

一
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

一
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也
山
方
保
が
山
風
氣
を
所
對
也

時辰二ノ

「築村徳兵衛
留坂辰三」

右御道見歩用貴新御身
於日席日人下向
引在侍在日人

山崎三郎

村植左衛門

名代

上清津藩

高尾越下席

松村十吉

全三枚

右者(由)用新御身
於日席列注日人下向

山崎三郎

小室彦左衛門

右者(由)用新御身

於日席日人下向

善事者(由)侍在

山崎三郎

時辰二ノ

「海濱部左衛門
村松四三郎」

右御用(由)貴新御身
於日席日人下向

村松四三郎

全三枚

右馬(由)貴新御身

山崎三郎

山崎三郎

石室辰三郎

松本藩

山上七右衛門

山下乙次郎

小室彦左衛門

銀五兩

右馬(由)貴新御身
於日席日人下向

守屋日記

長治元年

全五拾

荒草席
作木也席
里田涼席
里見涼席
所牧長草
山田三火
里屋草席
滝川少草

右之皆新舟草一各初日席
同くP席一各初日席

同

銀五枚

新麦草席

右之草乃少用者新初草
り一各初日席一各初日席
注日席

同

口三枚

長治川伊織

右日所買物由新草種
り一各初日席一各初日席
注日席

鳥頭

口十枚

海防紙之席
海防紙之席
秋草三草
曲草又草
海見七草

鳥頭

長波七草席

口且分

村松代七
海防紙之席
海見草席
新及草席
由木心之

口七枚

右邊月向井新本舞分向夜
左邊月向井新本舞分向夜
庄口也

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

山田常加

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

松井幸物

山田常加

市川海三郎
在代

市川新八

市川新八

竹島信吉

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

一 佐藤子文七の居也

一 坂下一也

一 儿将赤一初等受物也

書

三月六日

水野左近衛

水野左近衛

右左同書換婦多玉均等共同中
初中

是書一問

跡月

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

市川新八

坪内式於子記

新吉原 子記

森 子記

早中内 子記

子記

中多 子記

子記

大田 子記

子記

子記

佐之 子記

子記

東 子記

押方 子記

子記

直 子記

子記

比 子記

子記

子記

小 子記

子記

子記

杉浦 子記

子記

酒井 子記

子記

子記

相 子記

右 子記

子記

子記

子記

酒井 子記

子記

小村 子記

系代

富山毒膏

右由月人之所傳之信性口系

口所

厚儀之儀言被傳

如後三卷

誠曰遠紅

右於其書之間信狀口由中

列在口月人之信及中書信口

物頂毒

日

口月人信

口二卷

信口書

口

信川書口被傳

信口二卷

信口信口

右於其信口口月人之信口信口

口信信口物頂毒

上使書信口

厚儀言被

右由厚儀之信口

一 右為由信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口信口信口信口信口信口

口

三月七日

子書

物部備前守

水部出守

右為伺由被探奉

城於御目之由是申之由是也

物部備前守

右月之六日於美濃之河内是

中より也

山部守屋

久之丹尾守

全三枚

右由侍方即取捨別方所書

由是為由是申之由是也

由是申列在申之由是也

山部守屋

白系持守

全三枚

時辰二

山部守屋

向井持守

全三枚

時辰二

山部守屋

戸田守

全三枚

右為伺由是申之由是也

日新同く申之由是也

若手書之由是也

山部守屋

河内守

全三枚

時辰二

山部守屋

戸田守

全三枚

時辰二

山部守屋

森山守

全三枚

時辰二

山部守屋

村松守

全三枚

時辰二

山部守屋

森山守

口外

山崎宗信
松田少三郎
川口平三郎

口外

吉田隆盛
渡辺信忠
田中十重

口外

本多吉成
湯上清隆
孫益信
三日月忠世

合三

平井宗成
半田丹次郎
山本五郎左
松次宗長

口外

右白河守... 松山宗知
右白河守... 松井松松
口外... 列位

三列滝山

右... 青柳虎
右... 本岡坊

本岡坊
元虎
川入
仙悦
周碩

口外

時後三光

右由所相領物以

伊予守三光於日帝日人ハ後親
物頂其書

一 丹羽加賀守三光ハ所領在忠信守

院指一名二種一為以信守院上

之院捨一為日人ハ所領

在ノ外 屬中一聖後之形ハ

此

一 表守所領院日設同勅一為以信守表

上院日平守所領一為以信守表
在院

一 院表守所領院之外ハ信守院下

一 院表守所領院之外ハ信守院下

一 院表守所領院之外ハ信守院下

一 院表守所領院之外ハ信守院下

一 院表守所領院之外ハ信守院下

一 院表守所領院之外ハ信守院下

一 院表守所領院之外ハ信守院下

書

三月八日

水部省

今於上野

後日院棟 即重宗

所居代多居丹波守三光

松平三光

右代密押

上使酒井國清

水戸少将殿

右代密押
右代密押 水戸殿屋座宰相殿
水戸少将殿
城より拙者より送付月内 和泉屋
にお向ふ可及之趣 号々居申
身居申所由書院 此後拙者
目小細と依りて 送付且水戸殿
ハ外西札事 一筆守四也
以向付是又日人にお向ふ

上使大老武蔵守

日蓮西門

口口

同新宮

口列不詳

増上寺文

右代密押

右代密押 増上寺方丈中

拙者陽より 口口人にお向ふ
う致す趣 号々居申所由書院
お向付 拙者陽より 送付
一 後昨より 右代密押 号々
此後屋座宰相殿より 送付
送付 号々居申所由書院
右代密押 号々居申所由書院

此

一 明十日 月夜清秋 後大月身
右代密押 号々居申所由書院
一 日池方より 書付 号々居申
号々居申所由書院 送付
右代密押 号々居申所由書院
一 白屋号より 号々居申 送付
一 此後 号々居申所由書院 送付

天火戸殿屋康室相及水戸少殿
に是より同様に之より大瑞吉解
所へ通し御座り申す事也
申す事也此所より申す事也
一由七并四申す事也此所より申す事也
此所より申す事也

当番

三月十日

松平紀伊守

松平謙波守
松平德波守
酒井雅茂
井伊孫助次

右為伺申候様也
城於此所申す事也

当番

之尚十信

右紀列就

仰使帰於羽目之与和泉守也

喜連川左衛門

右代

吉永世守

同右吉永

右在左衛門物病丸親之遊邊居
申す事也
之相違申す事也
此所より申す事也

新出番

松岡彌兵衛

赤松守房

右代

伊東政市

右物者表紙所也
即之自由高止也

右物日外... 即日... 平國...

平國...

平國...

同日...

同日...

同日...

同日...

同日...

右物日外... 即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

平國...

平國...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

即日...

存外 屬中望候之形也

此三

長尾

金山殿

長尾常陸

右拂方戸戸之痛方之候は是
初島之無屋相坊物性相和
りり之於燈籠之方之
井伊之助之方之由

一 同土之歳等之由被候之方申次
物之り之候は申次之候は是
候し之候は申次之候は是
一 備後守之方之由也 城守
一 守初島之由是河原守之由是

當番

三月十日

松平徳右衛門

今朝例年之由是歳等之由被候

上之柳之間に越中守之由是

備後守之由是

長尾

右松平守之由是
右松平守之由是
右松平守之由是

長尾

長尾

長尾

長尾

長尾

右松平氣領之由是

所之六首之由是
相和之方之由是
列座和之方之由是

長尾

長尾

全二拾苑

武治左借
右代

世居

聖田松三郎

右代

志茂三郎

吉屋孫兵衛

宗

吉屋孫兵衛

右吉平年事自負皆麻仕身

為市原氏之弟分於西右等流

左孫新和息也平治流所初置敷

一多孫仙系子侍屋曲剛時多子

右連也

一明上之少侍由信持言亦下川

第右為西右等流也

一以公方系子孫列等少

一昨日份也一也多孫孫也

右外 殿中 整頓 亦也

也

少孫

坪内式部

豐田市

川

全田正官

村井三郎

川

河野孫兵衛

三橋又兵衛

川

全田正官

全田八郎

川

長上書

主未渡屋名也
乙未月二十日

酒井屋名也

水戸屋名也

右記 信守 易於燒火 〃〃〃

右記 易於列活井伊吉田村

〃〃〃〃〃

一 伊吉田 〃〃〃〃〃

一 城記 〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

一 信守 〃〃〃〃〃

一 儿時 〃〃〃〃〃

也

三月十三日

板倉肥前守

今日 〃〃〃〃〃

一 〃〃〃〃〃

前大子通木下川第百為田屋

必力

水戸宰相殿

右記 〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃

小室宗仁

右記 〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

〃〃〃〃〃

即成中合一連日人形山
と代合の山

書

一 七の由標押手何本路石袖解幸
為云云

一 跡中より後九時迄也

一 堀より尾山の中印物之中より公統
伊達より懐也

一 堀より也

一 傷痕も及りて居也 堀より

一 八井新泉より山所跡跡手地
為已代合の山

居居書

同日

松平地合書

即成標跡七時迄也
還即也

一 後

即成標跡山由役
為山所跡水戸殿屋屋宇相殿

為山由殿山の上信也止水殿
也

即成標由殿山由役
也

公方標

即成標 依祥院殿
也

傳名山由殿
也

一 後

公方標

即成標跡山由役
也

後と違ふ為山所跡屋屋宇相殿
也

日所 物も漏日人
也

函

時辰二

儒者

筆墨老幼

系

林百助

吉原へは馬車用物相頼り下

り方お戻りし頃へは信厚

物相頼り若手家元信厚

妻若手

派少校

永田中流

右家習方出陣書新書頼り

り方お戻りし頃へは信厚

物相頼り若手家元信厚

一 明十五日月次へは礼を承

礼成在りし頃へは信厚

向かひ明りし頃へは信厚

云給ひ書留物へ相頼りし頃

へは信厚又とて書文七へ

少後書方へは信厚

右へ外 屬中 書留物

上

書

一 信厚も及しりし頃

一 信厚も及しりし頃

一 信厚も及しりし頃

書

三月十五日

水書

月次へは信厚相頼

即白書院

家習書院

瑞福一若

在連若書

隠居

銀三代

若代

出小古席

手動

半平代

段

于朝一系

吉屋徳子

以引

吉井大徳

以引

久之原徳子

松平徳子

日

日

毒

以引

安於徳子

以引

保神徳子

以引

酒井徳子

以引

米津徳子

以引

内田徳子

日

傳

出後古巻
相馬代

吉島徳子

吉野自也

左近将監子古京

出後古巻
相馬代

三光千徳

綿三子把

伴即月一良徳

三光左徳

增明一良徳

出後二巻

小笠原徳子

吉屋一良徳

于朝一系

酒井徳子

吉野一良徳

于朝一系

柳京徳子

吉野一良徳

相馬一良徳

于朝一系

福原徳子

以引

芦花徳子

以引

大岡徳子

吉野一良徳

吉野一良徳

吉野一良徳

吉野一良徳

吉野一良徳

三本物換錦向

口月人傳之 在

胡金部

移中一守為由事

以上使

洋川堂

宮比

濱山破

濱山破

海運院

一東一平
由捨手

增厚

少傳書

尾代求馬

比列 即傳師

之留十在

由次一曰

赤上

志列

二澤坊

日

京堂屋

彌在

由卷一曰

由洞戸

赤上

夏

一和一名

比代官

比代官

比代

二條

中井

代檢

比代

中井

即自見

香川右衛門
作

山名小太郎

子海軍上

田舎の昔

六月廿日

ツ月廿

三十一日

由松平内

松平信希

右物指来り

一 松平信希の事... 由松平物指... 松平信希の事... 由松平物指... 松平信希の事... 由松平物指...

一 松平信希の事... 由松平物指... 松平信希の事... 由松平物指... 松平信希の事... 由松平物指...

以て

- 一 香川右衛門... 松平信希... 田舎の昔... 六月廿日... ツ月廿... 三十一日... 由松平内... 松平信希... 右物指来り... 松平信希の事... 由松平物指... 松平信希の事... 由松平物指... 松平信希の事... 由松平物指...

三月十六日

牧野信吉

田舎の昔

物重を致す痛
志為何由後嫌之至於更甚
石市老中 忠也

肥後 松平 孫 忠 頼

借取

松平 金 一 由

口

松平 大 和 吉

口

松平 吉 仍 吉

四只

和 永 吉 仍 吉

口

尾 吉 大 子

口

松平 四 雲 吉

右 志 借 取 之 所 由 事 院 院 院 院

以 卷 中 刊 注 和 永 吉 仍 吉

松平 恒 吉

伊 东 虎 吉 仍 吉

本 下 千 流

丹 后 吉 仍 吉 仍 吉

島 原 新 吉 仍 吉

井 上 一 三 郎

吉 永 忠 孝 子

同 後 全 一 郎

山 崎 吉 仍 吉 子

大 友 保 八 吉 仍 吉

山 崎 恒 吉 仍 吉

大 友 保 吉 仍 吉

吉 永 忠 孝 子 仰 承 之 所 由 事 院

別 座 同 前 人 中 渡 之 若 子 吉 仍 吉

信 彦 元

逆 光 院 校

山 崎 人

吉 馬 孝 吉 仍 吉

山 崎 吉

吉 永 忠 孝 子

巨 勢 吉 仍 吉

松 平 吉 仍 吉

德 永 小 膳

加 賀 初 吉 仍 吉

大河内普將

平定言

松平忠房

今福持三郎

口

大橋能高直次

柳島三平

山内世雄

大橋能高直次

三林通郎

半次次

竹田善平

之方藏六郎

宇内川平七

增倉桂次

奥口吉平

西口吉平

瀬川清太郎

吉布衣次

之方同人之御一列在御

尾張殿

右河内

右尾張殿依山領山

法更次

御身之御日御列在御

日人之御

御身

吉平

人見清次

池田殿

右河内方山内

修助之御身之御日御列在御

中書御之御身之御日御列在御

右河内方山内御身之御日御列在御

長次之御身之御日御列在御

上使名持師

三月十七日

聖書

水部寺

今由東宮之江葉山

即宮英起

即靈龜

即奉清由於條條四時之

還即

一 即成

還即去於何席何席

一 還即

還即已度為何由後條之水廢

紀伊殿屋長宰相殿之

屋長殿使

一 右

右龍日之德川若

之相

一 右

右身大子為丸大子

出屋家初席之抽之湯

一 後

後日先由之跡由

之屬管之由後之

之務院之務之

之

一 明日

明日地伊殿

之禮之有之

之書外之由

又進物書

之

之

一 少

少同人之由

之

之

即見見の道志人通一木戸武
夫ノ切込来以核上居一ノ居
又遠方ノ場亦去人通了ノ事
一即見通一ノ事七ノ降ノ事
主高一ノ車来三肩持一ノ事
拂一ノ高居通了ノ事五斤半
又由通了ノ事一ノ可余も降也
ノ事及斤高居人史ハ門拂
了ノ事一

但即親式

即通一ノ事一ノ事一ノ事

一ノ事

即通一ノ事一ノ事一ノ事

玉子

一即即由跡起回勇引切り
即跡一ノ方ハ人通一ノ事
西門一ノ起回勇通了ノ事
内外一ノ注果ハ一ノ事

但 通即由跡人通一ノ方
候去前日由了ノ事一ノ事
可ノ事

右一ノ事一ノ事一ノ事
一ノ事一ノ事一ノ事

一月

右一ノ事一ノ事一ノ事

苗書

三月十八日 昇之禮次

即建全院

家書ノ事

即三刀一勝
銀百枚
銀百二十卷
即馬二正
即刀通金
代金二十枚

中將殿

即力

水戸宰相殿

吉地伊波就事終身堂

尾張宇相殿
水戸少将殿

加野氣

松平左衛門
松平左衛門
松平雅茂

右松田
即自見

紀伊殿

水戸将馬

右月
吉相傳

松平廣重

吉相傳

切方 如鴻兵衛

紀伊殿

水戸将馬

月三

水戸将馬

月

金森源吉

月

村上

月二

若原

月

井原

月

小出

月

吉生

日

尚井又彦 在

日

徳富新太郎 在

日

長谷川新太郎 在

松澤重三郎 在

二ノ

三ノ

三ノ

西村三太郎

高野三九

三ノ

水野三太郎 在

金馬代

日

松平八郎 在

日

日

大塚謙三 在

日

花菱三太郎 在

日

山口貞一 在

日

根来右京 在

日

三ノ

三ノ

田沼三火 在

日

三ノ

三ノ

日

日

日

日

日

日

日

日

日

永見仙中

山善信之宛

式部卿

母氏決意

孫之宛

大寺卿

東宮市郎

是子

少輔三條守良

中山守良

如左

北条守良

松平八郎

日

日

日

日

日

日使書

監物卿

思部吉郎

日

皇族書房正四位

友部卿

河内守良

日

如左

中卿

河内守良

日

日

信州守良

鈴木守良

日

日使書

如左

男

水野乙太郎

〇

徳川子爵

男

龜井源三郎

〇

徳川子爵

男

赤松竹久

〇

赤松竹久

男

細井尚平

〇

要人

男

菅田孝

男

長井十五郎

〇

式部省

男

徳川又三郎

〇

徳川又三郎

入部

中島英一

山吹

〇

徳川英一

〇

徳川英一

松平隆重

交番

如所 町邊

菊合

如所 飛松

美し

信右

中

臨

結

右邊

松平隆重

二人

若

一 所

一 所

一 所

一 所

所使

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

一 松平隆重

水戸宰相殿
紀伊中務殿
尾張守殿
水戸由良殿
右由良通旅行の事
切事

松平忠房殿
御座候上

由良通の書
寺務の事
六月廿日

一 為政の事
若年奉中
給手
二年
右何

一 寺務の事
所
若年
三月

三月十九日
御座候間
水戸守
為書

右相原於卯白書院
西日
三月廿日

大書
王花
余

徳川老貞康徳

御後二色

宮内省

右様日席 初等及後等御書出

後相物御書出

右様一介 殿中書及御書

上

〇

四月廿

同官治左

右様へ通し御書出 右様御書出

後相物御書出 御書出

御書出 御書出

右様御書出 御書出

御書

林左京

右様の御書出 御書出

御書出 御書出

口人御書出

御書

御書

右様の御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書

御書

右様の御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

御書出 御書出

去屋能下
本并大燈頭
久世隱政
松平伯耆

右之為

右之為... 層一死... 層... 中列... 和...

大書

大久保...

各代

三光...

右之為... 後

即... 間列...

日... 日...

...

...

...

...

...

右之... 部...

...

...

二條...

...

右之... 遊...

日人...

上使...

紀伊...

...

日佐...

西回...

右之代...

...

...

...

居於此所自是後而後亦如也月
平之方初也
終之方

正字

往來戶類

活書信居時

山竹洞及

大木金物

- 大石 仰りてお境大なる車寄
- 凡列屋井伊之助より河内
- 日地方より中村曲園坊より中村
- 細尾より河内
- 八時より和歌山より河内
- 此甲辰の己丑月七日の事

第百

三月廿二日

松平純伊守

河内武部守純

神尾玄胤

金田直之丞

柳宗八兵衛

花田甚彦

若山源三郎

南島之丞

中山隆及助

勝田甚彦

藤川傳左衛門

松平信康

永井三之丞

言本飛後

江原重人

阿部敬祐

曲淵源三郎

石河甚彦

海台守十郎

湯中佐兵衛

右中世性組仍使古高野村人好就
之令市人入之
作舟之令於兼之令由家那西
老中列座和舟之令海之令老
号成何佳

大書

三石山雲之江

山平市之鳥

飯之山雲之

泥七石之

日

山江

山林之鳥

名代

仙江山雲之

勝江山雲之

右是道之三條出番一席由子
所具之古之建新洞物即列於

相和之令之令於那端之令日人
了海之令物相載之

馬見

源花牌

日之令

提回京廓

右程之物相動以新親如人持持之
了之令於日人日人了之令之
年号元侍在

一

即着極端之令之令於依之令之令
異後於紀伊殿之令之令上使者於
日市日人入之令之令

一
明廿三日丑時之令供持之令之令

知和之令之令之令之令之令

陶之令之令之令之令之令

右之令之外 屬中盤候之令之令

以上

此等

一 官名改小書并素系源列多由外字

一 西口

一 西尾子及之也

一 誠

一 八時香由之然通玉之也以上

別紙並上

兼原伊豫子

肥后子婦子 合平

松平若校子

和泉子婦子 大平

及蓮太字氏

恒平

松平左衛門

虎平

伊东左衛門

千勝平

木下之平次

一二島平

井上遠江守

丹后子及婦子

島居伊豫子

七三子及婦子 全一平

内及他

山崎子婦子 八平

大之保

右之改名也

二月

松平丹后子

松平伊豫子

柳合進之丞

柳合進之丞

以之改改其正以物之也

記伊子高書之也

一
此抄初巻の巻頭の「身兼女官代合
了」の正押合を「了」の代り
抄す

是即以後抄通玉に到りて止

当書

三月廿四日

板倉抱素

今朝上邸
孝恭院様 即靈茶
即若代 廿夜討馬と系訪

松平清信

松平隆信

酒井雅忠

井伊掃部

右為伺申候條也

物於例席申付申

水田清吉

右於日引の玉於御目より而
為申付也

西条一右

如左一折

増上寺

僧自院

右為累書之玉於御目也

故於西条書院山原紙申付申

右之外 為申付候也

此書

一 以地方より書付系系豫列候

一 任厚書付候也

一 海軍

一 此抄初巻より以後何れも身兼

当書

三月廿四日

西条清吉

永井伊直
倉橋三左

右者物置御座り就痛氣申候
即免之候事一紙入
即座申事一紙氣留居候事一紙
心長事一紙了仕候事一紙
即免之候事一紙
美事一紙
和泉事一紙

大田書

中野書

美事一紙
田澤書

北本書

右者物置御座り就痛氣申候
即免之候事一紙入
即座申事一紙氣留居候事一紙
心長事一紙了仕候事一紙
即免之候事一紙
美事一紙
和泉事一紙

和泉書

西村左書
日給
秋月之席

右者物置御座り就痛氣申候
即免之候事一紙入
即座申事一紙氣留居候事一紙
心長事一紙了仕候事一紙
即免之候事一紙
美事一紙
和泉事一紙

和泉書

和泉書

右者物置御座り就痛氣申候
即免之候事一紙入
即座申事一紙氣留居候事一紙
心長事一紙了仕候事一紙
即免之候事一紙
美事一紙
和泉事一紙

山

流石松元

小川伊三郎
尾中為三郎
豊代寺
村田三三郎
石川三三郎

右濱市殿 申年申月新申年 申年申月
申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
一 八歩 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
別代 申年申月

松平初代 申年申月 申年申月 申年申月

心 申年申月 申年申月
申年申月 申年申月
大月 申年申月

遠江 申年申月 申年申月

山住 申年申月 申年申月

遠江國

右徳聖持現況 社修費 爲
申力 申力 申力 申力 申力 申力 申力 申力
三月 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
社修 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
乃信 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
申年申月 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
申年申月 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月
申年申月 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月

三月

右 申年申月 申年申月 申年申月 申年申月

申年

三月 申年申月

西尾 申年申月

申年申月

申年申月

申年申月

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

冬

松平内務

松平内務

松平内務

松平内務

各代

松平左衛門

藤山寺子

藤山寺子

市川内膳

各代

油羽左衛門

酒羽馬廻

佐々木子

若田弁助

各代

若田強助

山口寺子

佐々木子

佐藤五郎

各代

神尾左衛門

南於三郎

寺子

沢左衛門

各代

佐々木

酒井左衛門

寺子

寺子

岡田左衛門

各代

寺子

酒井左衛門

寺子

松平左衛門

各代

寺子

酒井左衛門

寺子

神尾左衛門

酒井左衛門

松平信房の子
信房

布施勝子

各代

大之保信房

酒井國清の子

是原信房

川合捨三郎

中野

武平次の子

水上三平

各代

米田信房

吉江 仰子 子 中 列 姓
信房の子 信房の子 信房の子

源 信房

源 信房

信房の子 信房の子

又吉江の子

原 信房

各代

神谷信房

金田信房

又信房の子

河 信房

又信房の子

又信房の子

中 信房

各代

信房の子

即信房の子

又信房の子

岡田信房

各代

又信房の子

又信房の子

宗加子子孫

少堂抄卷

各代

川島氏流

宗加子子孫

宗加子子孫

石原氏流

各代

北山氏流

宗加子子孫

宗加子子孫

尾井氏流

各代

高橋氏流

宗加子子孫 侍臣同系

大田

三花山

豊満七五郎

時後之

右去九廿二日於

所願先鳥村留山身為西原氏

子孫相承以初頂戴

右之外

尾井氏流

也

書

川島氏流

各代

尾井氏流

河内氏子孫

丹波氏流

各代

尾井氏流

右去九廿二日於

井甲子孫

西元

西丸大書院
磯田武史

松平忠房

大書院 信守... 御授... 方列...
日... 後... 由

一 御中... 及... 力... 申...

一 御中... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...

一 御中... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...

一 御中... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...

一 御中... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...

一 御中... 及... 信守... 由... 御...
申... 及... 信守... 由... 御...

御書

三月廿七日
大書院

御書

丹羽長門守

大書院

御書

火消役
中多左京

近夏年入

右於

御前

物中

右為伺由...

間...

縁組

酒井...

名付

酒井...

松平...

山...

...

...

佐藤 隆之丞
山崎 隆之丞

淺田 隆之丞

小菅 隆之丞
河野 隆之丞

伊藤 隆之丞
山崎 隆之丞

中務 隆之丞
山崎 隆之丞

山崎 隆之丞
山崎 隆之丞

山崎 隆之丞
山崎 隆之丞

山崎 隆之丞
山崎 隆之丞

山崎 隆之丞
山崎 隆之丞

山崎

山崎 隆之丞

山崎

山崎 隆之丞

山崎

山崎 隆之丞

山崎

山崎 隆之丞

山崎 隆之丞

山崎 隆之丞

山崎 隆之丞

山崎 隆之丞

山崎

山崎 隆之丞

山崎

山崎 隆之丞

山崎 隆之丞

此 行舟... 於日序同... 下...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

一 蠶川相... 卷...

松平左衛門
伊東左衛門
赤下之丞

川

川

川

川

川

川

川

松平左衛門
伊東左衛門
赤下之丞

丹波守

多治守

井上守

右衛門

月夜守

山崎守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

右代

松平左衛門

伊東左衛門

赤下之丞

丹波守

多治守

井上守

右衛門

月夜守

山崎守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

大之保守

川

一東一平

川

川

松平左衛門

伊東左衛門

赤下之丞

丹波守

多治守

井上守

右衛門

月夜守

山崎守

大之保守

一束一巾

入彦山

甲列古堂 表

中遠寺

山王控

山王控列古堂

御流橋

川

足樹院

山王控

山王控列古堂

樹下園

神田明神

神田明神

三島古属

氷川

氷川

古所院

系上

連高作 巻

一束一巾

以高次之

高次

松平

今井

西次一回

系上

扇子

連高作

下札

世移御之入云云
世移御之入云云
世移御之入云云
世移御之入云云
世移御之入云云

世移御之入云云
世移御之入云云
世移御之入云云
世移御之入云云
世移御之入云云

初

書

書

書

右記伊原信房歿後以来の月々
法更文

仰有之於其意に則して自前
日入の儀

村上

右記伊原相嗣

宣旨に奉りて申渡すに
宣旨外 願申上候事

上

上

上

表坊

表坊之儀

松下

右記 仰有之於其意に則して自前
元列在井中申上候事

望津

望津

明末

右記 仰有之於其意に則して自前

中央新相神守より
多岐何事なるに由

活書

川村

右記 仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

土月廿八日

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

仰有之於其意に則して自前

松本母屋
名代
松葉梅屋

不減是上

由書

六月廿二

四月分

十二月廿九日

由書

普濟寺

右為氣身

- 一 於希羅... 乃山... 通海...
- 一 同役... 乃山... 乃山...
- 一 林... 乃山... 乃山...
- 一 乃山... 乃山... 乃山...
- 一 乃山... 乃山... 乃山...

- 一 乃山... 乃山...
- 一 乃山... 乃山...

十二月廿九日

由書

古井大...

牧野...

乃山... 乃山...

由書

丹羽長...

乃山... 乃山...

由書

松平...

并段云

由書

日二

平...

右侍上守

天英院様

即靈心

即廟向之小出御慶山申物表

之り一与於更更之元列在

同前日人下海力以物頂戴

有手高元信在

蓮定院様御人

口之元

「之禮之書席
有馬差席

右二九由九一之候出格相表

以入用所未減の事之り一与出

於由七事即全張紙日人下海

流所物頂戴一列在信在日人

口之元

將監表院

口之元

將監表院

右之り一与出御所方新古格年

之り一与於日席日人下海相表

頂戴一列在信在日人

口之元

將監表院

口之元

將監表院

右物口之り一与出御所

日人下海相表物頂戴一信在

口之元

蓮定院様御人

口之元

將監表院

右二九由九一之候出格相表

入用七未減の事之り一与出御所

於由七事即全張紙日人下海

流所物頂戴一列在信在日人

蓮定院様御人

口之元

將監表院

右四言由の外上水極待り

有手相表物之り一与出御所

有手相表物之り一与出御所

事極備矣... 仁君之信國... 故... 也

川口段

四三以

河田葉子

右場上等

累年... 度... 候

天... 度... 候

所... 向... 外

少... 年... 候

後... 物... 候

海... 山... 候

一 二ヶ日... 候

一 三ヶ日... 候

一 四月... 候

一 五月... 候

右... 外

左... 外

此

飛車... 候

主... 候

右場上等

累年... 候

天... 度... 候

所... 向... 外

少... 年... 候

後... 物... 候

海... 山... 候

川口

川口段

村山... 候

全... 候

太... 候

多... 候

列... 候

川口段

主... 候

右日外川用桐神等よりなる
獲りたるもの種目多し

三田吉屋
冷泉丸屋

市川丸屋

尾代
深谷丸屋

尾代
市川丸屋

尾代
山本丸屋

尾代
市川丸屋

尾代
平岡丸屋

日外丸

日外丸

右場上寺
聖徳院棟

天英院棟 所置屋

所置屋より外に修葺出来ぬ
等よりなるもの種目多し

妻山丸屋
尾代

右に 榎木丸屋
尾代

蓮光院棟

杉浦丸屋
井上丸屋

右二九所よりなるもの種目多し
右に 榎木丸屋
尾代

右日外川用桐神等よりなる
獲りたるもの種目多し

アセ

一 竹筒古紙の経綫一を和紙に書し
 此紙を有る紙に引くは以て其の
 一の中一は其の末高より其の切
 為し紙中より其の以て何れ其の
 一は其の力より一書す其の末高列に
 其の
 一 任厚きとてしとせ 識之
 一 八時系初紙とて其の身より其の
 列紙其の上

此紙を有る紙に引くは以て其の

一 任厚きとてしとせ 識之

八時系初紙とて其の身より其の

列紙其の上

右痛亦有之身来年始即流
 治毒とてし其の身より其の上

此紙を有る紙に引くは以て其の

一 任厚きとてしとせ 識之

右痛亦有之身来年始即流
 治毒とてし其の身より其の上

三月晦

此紙を有る紙に引くは以て其の

一 任厚きとてしとせ 識之

右痛亦有之身来年始即流
 治毒とてし其の身より其の上

上

(R)

一 明。伊。...

一 瑞。...

一 伊。...

一 八。...

